

Impacting the World

西南学院大学

西南学院中学校・高等学校

西南学院小学校

舞鶴幼稚園

早緑子供の園

# 2011(平成23)年度 学校法人西南学院 事業報告書

一粒の麦から、次の100年に向かって



 学校法人 西南学院

## 西南学院の使命

学校法人西南学院は、「キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てることを使命とする。

Mission Statement  
of  
Seinan Gakuin Educational Foundation

Seinan Gakuin, an educational institution endeavoring to be true to Christ in the pursuit of truth in academic affairs and excellence in character development, strives to equip and nurture students to serve as creative and constructive leaders in local communities and in an expanding global society.

# 目次

2011(平成 23)年度事業報告について	1
<b>I. 学校法人の概要</b>	
1. 沿革	2
2. 組織図	4
3. 理事・監事・評議員	5
<b>II. 事業の概要</b>	
1. 各学校・園概要報告	
(1) 学院本部	6
(2) 大学	9
(3) 中学校・高等学校	16
(4) 小学校	19
(5) 舞鶴幼稚園	20
(6) 早緑子供の園	21
2. トピックス	
(1) 各学校・園行事	22
(2) 認可・認定・届出	26
(3) 名誉顧問・名誉教授・名誉博士	27
(4) 学位授与	28
3. データ	
(1) 学生・生徒・児童・園児数	29
(2) 教職員数	31
(3) 入学試験日程	32
(4) 入学志願者数及び合格・許可者数	34
(5) 卒業生数	36
(6) 大学卒業者就職状況	37
<b>III. 財務の概要</b>	
1. 資金収支計算書	38
2. 消費収支計算書	39
3. 貸借対照表	40
4. 財務比率などの推移	41
5. 財務比率比較表	44
6. 学生生徒等納付金一覧表	45

## 2011(平成 23)年度事業報告について

学校法人西南学院は、2004(平成 16)年以降、当該年度における事業並びに財務の概要を事業報告書としてとりまとめ、2006(平成 18)年度からはその報告書を広く一般にも公開している。2009 年度事業報告書からは、年度初めに策定する事業計画書と内容的な相対性を持たせ、学院の各学校・園における事業の概要がより分かり易い構成となっている。

2010 年 4 月に開校した西南学院小学校の新設によって、西南学院は保育所、幼稚園から大学、大学院までを一貫して備える西日本でも数少ない学校法人となった。各学校・園での教育は、創立時から現在に至るまで建学の精神「西南よ、キリストに忠実なれ」を基としており、2009(平成 21)年からは、更に「21 世紀の西南学院のテーマ“Impacting the World”」を定め、2016(平成 28)年に迎える創立 100 周年に向けた取り組みを学院の内外にて行っている。

本報告書は、Ⅰ．学校法人の概要、Ⅱ．事業の概要、Ⅲ．財務の概要の 3 部から成り、Ⅱ．事業の概要において各学校・園の主要な事業、トピックス及びデータを掲載している。本報告書のデータは、2011 年度内のものを基本とするため、それぞれ次の時点のものである。

学生・生徒・園児数： 2011 年 5 月 1 日現在

入学試験日程： 2012 年度入試 (2011 年度実施の入試)

沿革： 2012 年 3 月 31 日現在

組織図： 2012 年 3 月 31 日現在

理事・幹事・評議員： 2012 年 3 月 31 日現在

入学志願者数及び合格者数、卒業生及び卒業生総数： 2012 年 3 月 31 日現在

学位授与： 2012 年 3 月現在

Ⅲ．財務の概要においては、2011 年度の資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表に加え、帰属収入と帰属収支差額、消費収支計算書の財務比率、貸借対照表の財務比率、各種引当資産等に関する推移も掲出している。また、本報告書から学生生徒等納付金一覧を巻末に付記することとした。

大学における 2011(平成 23)年度は、第 11 次財政計画(2010—2013 年度)の第 2 年度として、同計画に基づく諸事業に取り組むとともに、2009(平成 21)年度以降に進めてきた「施設整備長期計画」を見直して、新たな長期的整備のマスタープラン「キャンパスグランドデザイン」を策定した。今後、この計画に沿って個別の計画・設計を具体化していくことになる。また施設設備面の充実と合わせて、2011 年 3 月から大学では、ホームページ上に教育研究基本情報ページを開設し、より多くの教育情報の公表に取り組んでおり、本報告書と合わせてご参照いただければ幸いである。

※西南学院大学教育研究基本情報ページ

([http://www.seinan-gu.ac.jp/about/public\\_information/seinan\\_basic/](http://www.seinan-gu.ac.jp/about/public_information/seinan_basic/))

# I. 学校法人の概要

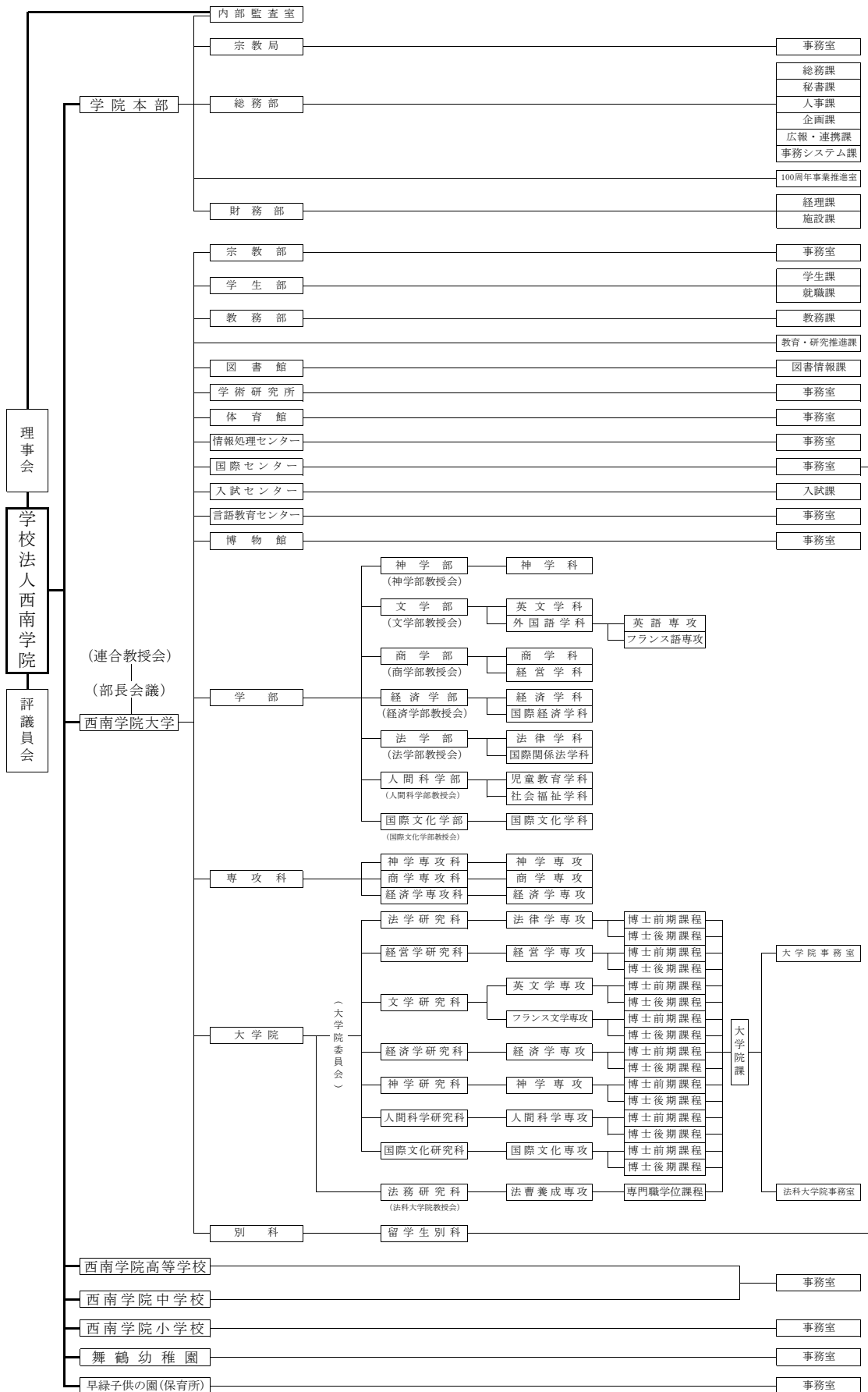
## 1. 沿革

西暦	元号	年	月	内 容
1916	大正	5年	2月	私立西南学院設立(福岡市大名町105番地)
			4月	西南学院開院式
			11月	私立西南学院を私立中学西南学院と改称
1918		7年	1月	早良郡(現福岡市)西新町に移転
1920		9年	7月	私立中学西南学院を中学西南学院と改称
1921		10年	2月	財団法人私立西南学院財団設立
			4月	西南学院高等学部文科及び商科設置
			6月	中学西南学院を西南学院中学部と改称
1923		12年	4月	高等学部神学科増設
1939	昭和	14年	4月	西南学院商業学校設置
1944		19年	4月	西南学院高等学部を西南学院経済専門学校と改称、西南学院商業学校を西南学院工業学校に転換
1946		21年	4月	西南学院工業学校が西南学院商業学校となる、西南学院経済専門学校を西南学院専門学校と改称
1947		22年	4月	西南学院専門学校第二部(英文科、経済科)増設、新制西南学院中学校設置
1948		23年	4月	新制西南学院高等学校設置
1949		24年	4月	西南学院大学学芸学部神学専攻、英文学専攻及び商学専攻設置
1950		25年	4月	西南学院大学短期大学部児童教育科、第二部(英語科、商科)設置
			4月	舞鶴幼稚園(大正3年3月設置認可)及び早緑子供の園(昭和24年6月開設)を西南学院に合併
1951		26年	2月	財団法人私立西南学院財団を学校法人西南学院へ組織変更
			4月	大学学芸学部を文商学部と改称
1954		29年	3月	西南学院専門学校廃止
			4月	大学文商学部を文学部神学科及び英文学科と商学部商学科に分離、文学専攻科神学専攻及び英文学専攻並びに商学専攻科商学専攻設置
1961		36年	4月	西南聖書学院設置
1962		37年	3月	短期大学部第二部(英語科、商科)廃止
			4月	大学商学部経済学科及び商学専攻科経済学専攻増設
1964		39年	3月	大学商学部経済学科及び商学専攻科経済学専攻廃止
			4月	大学経済学部経済学科及び経済学専攻科経済学専攻設置
1965		40年	4月	大学文学部外国語学科増設
1966		41年	3月	大学文学部神学科及び文学専攻科神学専攻廃止
			4月	大学神学部神学科及び神学専攻科神学専攻設置、商学部経営学科増設
1967		42年	4月	大学法学部法律学科設置
1969		44年	4月	大学文学部外国語学科を英語専攻とフランス語専攻に分離、文学専攻科に英語専攻及びフランス語専攻増設
1970		45年	4月	大学商学専攻科経営学専攻増設
1971		46年	4月	大学院法学研究科法律学専攻修士課程設置
			6月	大学国際交流制度発足
1972		47年	3月	大学商学専攻科経営学専攻廃止
			4月	大学院経営学研究科経営学専攻修士課程設置
1973		48年	4月	大学留学生別科設置
1974		49年	4月	大学院法学研究科法律学専攻博士課程及び経営学研究科経営学専攻博士課程並びに大学文学部児童教育学科増設
1975		50年	3月	短期大学部児童教育科及び西南聖書学院廃止
1976		51年	4月	大学文学部国際文化学科増設、大学院文学研究科英文学専攻修士課程及びフランス文学専攻修士課程設置
1978		53年	3月	大学文学専攻科英文学専攻、英語専攻及びフランス語専攻廃止
1980		55年	4月	大学文学専攻科国際文化専攻設置、大学院文学研究科英文学専攻博士課程及びフランス文学専攻博士課程増設
1981		56年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻修士課程設置

西曆	元号	年	月	内 容
1985	昭和	60年	4月	博物館学芸員課程設置
1988		63年	4月	大学経済学部経済学科を経済学専攻と国際経済学専攻に分離、大学神学部神学科に神学コース及びキリスト教人文学コース設置
1992	平成	4年	4月	大学法学部国際関係法学科増設
1994		6年	4月	西南学院高等学校男女共学へ移行
1996		8年	4月	西南学院中学校男女共学へ移行、西南学院中学校・高等学校一貫教育実施
1997		9年	4月	大学院文学研究科国際文化専攻修士課程増設
2000		12年	4月	大学院文学研究科国際文化専攻博士課程増設
2001		13年	4月	大学文学部社会福祉学科増設
2004		16年	4月	大学院法務研究科法曹養成専攻専門職学位課程(法科大学院)設置
2005		17年	3月	大学文学部児童教育学科、社会福祉学科及び経済学部経済学科の2専攻(経済学専攻、国際経済学専攻)廃止
			4月	大学人間科学部児童教育学科及び社会福祉学科設置、経済学部国際経済学科増設
			4月	大学院神学研究科神学専攻修士課程及び人間科学研究科人間科学専攻修士課程設置
2006		18年	3月	大学文学部国際文化学科及び文学専攻科国際文化専攻並びに大学院文学研究科国際文化専攻博士課程廃止
			4月	大学国際文化学部国際文化学科及び大学院国際文化研究科国際文化専攻博士課程設置
2007		19年	4月	大学院神学研究科神学専攻博士課程及び人間科学研究科人間科学専攻博士課程増設
2009		21年	4月	大学院経済学研究科経済学専攻博士課程増設
2010		22年	4月	西南学院小学校開設

2. 組織図

学校法人西南学院組織図 2012(平成24)年3月31日現在



### 3. 理事・監事・評議員

理事・監事・評議員一覧 [2012(平成24)年3月31日現在]

◎理事長

○常任理事

職名	系 列	氏 名
理 事  (定数22名) 現員21名	院 長	○寺園 喜基
	学 長	○G.W.パークレー
	高等 学校 長	○伊原 幹治
	中 学 校 長	[伊原 幹治]
	小 学 校 長	○和佐野 健吾
	事 務 局 長	◎吉田 茂生
	副 学 長	武井 俊詳
	大学部長会議構成員	伊藤 龍峰 ○古賀 衛 中島 和男 上垣 彰
	牧 師 系 列	金子 敬 踊 一郎 奥田 知志 平良 憲誠
	評 議 員 系 列	K. J. シャフナー
	卒 業 者 系 列	秀島 正博 中村 晴光
	学識経験者系列	北村 慎二 小林 洋一 酒見 啓祐 高良 研一
監事 (定数2名) 現員2名		中村 一也 吉田 雅俊
評 議 員  (定数50名) 現員48名	院 長	寺園 喜基
	学 長	G.W.パークレー
	高等 学校 長	伊原 幹治
	中 学 校 長	[伊原 幹治]
	小 学 校 長	和佐野 健吾
	宗 教 局 長	K. J. シャフナー
	事 務 局 長	吉田 茂生
	副 学 長	武井 俊詳
	大学部長会議構成員	伊藤 龍峰 片山 寛 古賀 衛 中島 和男 大谷 裕文 上垣 彰
	高等学校教頭	中根 広秋
	中学校教頭	山内 芳広
	小学校教頭	宮崎 隆一
	高等学校宗教主任	坂東 資朗
	中学校宗教主任	宮崎 宗親
	幼稚園長	井上 哲雄
	保育所園長	[和佐野 健吾]
	事務部長会議構成員	坂井 啓 高木 幸二
	牧 師 系 列	金子 敬 踊 一郎 奥田 知志 白石 久幸 平良 憲誠 友納 靖史
	卒 業 者 系 列	崔 白雲 秀島 正博 岩崎 文正 川内 光 松原 照明 中村 晴光 田川 大介 梅木 光男
	学識経験者系列	今井 尚生 北村 慎二 小早川 晶 小林 洋一 相模 裕一 坂本 雅子 酒見 啓祐 高良 研一 綿貫 真理 吉田 扶久子
教 職 員 系 列	小山 雅亀 大杉 晋介 土田 珠紀	

注：各系列内はアルファベット順。

注：〔 〕 は兼務を示す。



## Ⅱ. 事業の概要

### 1. 各学校・園概要報告

#### (1) 学院本部

- A. 建学の精神に基づく、一貫教育による国際的な能力を育成するための教育の推進  
各学校・園では、チャペル等の時間を設けて日常的にキリスト教主義に基づく人格教育を行うと共に、各年齢段階に応じた語学教育、研修・留学の機会等を設けて、語学力及び国際的に活動できる能力の育成に努めた。
- B. 西南学院創立 100 周年事業の実施  
学院創立 100 周年に向けて、4 つの基本コンセプトに基づいた様々な事業を展開している。
- ① 行事関係
- ・西南学院フェア(2011 年 7 月)
  - ・西南リコーダー・フェスティバル(2011 年 10 月 29 日)
  - ・西南学院史講演会(2011 年 5 月 13 日、11 月 30 日)
- ② 広報関係
- ・100 周年ロゴマーク作成
  - ・100 周年新聞広告(2016 年まで創立記念日に毎年掲載)
  - ・TV 番組制作「100 年への響き～福岡で育む一粒の麦」(TVQ、BS ジャパン)
  - ・「西南学院大学 by AERA 自分が見つかる場所で」発行
  - ・博多駅スクロール広告
  - ・100 周年特設ページ開設(学院・大学ホームページ)
  - ・大学卒業生向け広報誌(Re:SPIRIT)発行
  - ・バークレー学長ストラップ作製
- C. 「エコキャンパス」計画の推進  
2010 年度を「エコキャンパス元年」と位置づけ、省エネルギー化を推進してきた。その一環として、2011 年度夏季に大学図書館の空調機器を最新の省エネ型機器(GHP: Gas Heat Pump)へ取替える工事を行い、前年同月比で図書館におけるガスの使用量が半分以上となった。併せて、2012 年 3 月に汀寮(女子学生寮)1 階の学生ラウンジ、食堂及び寮生室(約 40 台)、並びに学術研究所研究室(約 30 台)のエアコンを省エネ型機器に入れ替えた。  
なお、2012 年度は 2 号館及び 4 号館の空調機器取替えを行い、更なる空調負荷低減を目指したい。
- D. 総人件費の抑制とそれによる教育研究費の割合の増額  
大学では、大学給付奨学金を 432 万円増額し、採用枠の拡充を図り、また、緊急支援奨学金についても、2010 年度同様 1,080 万円を追加支援するなど経済的に困窮して

いる学生への奨学金事業を強化した。同時に本学初のメリットベースの奨学金として、「成績優秀者奨学金」制度を創設し、学業をさらに奨励することを目的として 1,310 万円を支給した。

管理経費は前年度比 5%カットの導入を図る一方、教育・研究経費については増額に努め、人件費の抑制策も鋭意検討している。中高では奨学基金(累計額 3 億円)の運用収入を財源とした奨学金の拡充が期待される。

#### E. 将来計画に備えるための健全な財政基盤の確立

2011 年度の予算執行に当たっては、一定の基準を設定し、特に大規模工事等の発注において見積り内容を精査して厳正に対応するなど経費削減に努めた。物品購入については、株式会社キャンパスサポート西南を活用して支出の削減に努めた。その他、寄附金、競争的補助金の獲得、及び資産運用収益等の増額の具体的な方策も検討中である。また、2 号基本金として体育館 2 億円、西南会館 5,000 万円及びメディア棟(仮称)に 5 億円を積立てた。

#### F. 宗教局活動

##### ① 学院聖句の学院内における浸透

2011 年度学院聖句(イザヤ書 40 章 31 節)

主に望みをおく人は新たな力を得

鷲のように翼を張って上る。

走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

##### ② 宗教局の主な刊行物

『西南学院とキリスト教』(年 1 回発行)

『宗教局報』(年 1 回 12 月発行)

『宗教局報告』(年 1 回 5 月発行)

『キリスト教ミニガイド らいふ「生命」せいなん』(2008 年改訂版)

##### ③ 学院コンサートの開催

『カール・シュターミッツの夕べ』(5 月 8 日)

『石川滋コントラバス・リサイタル』(7 月 21 日)

『金蔵直子ピアノと朗読「月光 夏のおはなし」』(7 月 23 日)

『クァルテット・エクセルシオ』(12 月 17 日)

##### ④ 学院クリスマス行事

・教職員クリスマス(12 月 14 日)

・クリスマスメッセージ「クリスマスの喜び」 院長 寺園喜基

献金額 275,154 円

・西南学院コミュニティ・クリスマス(12 月 22 日)

献金額 129,780 円

##### ⑤ その他

・公開演奏会 森佑理コンサート「明日はどんな日か」(5 月 31 日)

募金額 106,156 円

- ・第6回リコーダー・フェスティバル(10月29日)
- ・安積道也音楽主事オルガンコンサート(2012年1月21日)
- ・久山チャリティコンサート(共催：2012年2月25日)
- ・西南学院朝の祈りの会：毎月第1水曜日
- ・アルファコース(キリスト教入門講座)：全10回講座

#### G. その他

東日本大震災の復興支援として、東日本大震災復興支援委員会において義援金活動を実施し、3月末での義援金総額は12,247,227円となった。義援金活動への協力及び報告については、西南学院及び西南学院大学ホームページに掲載し、義援金は、日本バプテスト連盟を通じて送金したほか、日本赤十字社、ホームレス支援全国ネットワークとグリーンコープの協同による被災地への支援物資配送便の働き、NPO法人遠野まごころネット、そしてキリスト教学校教育同盟加盟の東北学院、宮城学院、尚絅学院にそれぞれ送金した。

## (2) 大学

### A. 教育と研究の充実と強化のために

#### ① 人格教育の強化

ア. 本学の理念や建学の精神、歴史等の学習のために、2010年度から学部・学科の共通科目として、自校史講義「西南学院史」を開講し、2011年度は4月11日から7月25日の期間に計15回実施した。

#### イ. 大学宗教部活動の充実

##### a. チャペル〔前期：4月～7月、後期：9月～1月〕

- ・毎週火曜日～木曜日の3日間。10時35分～11時(25分間)
- ・チャペルは正規の教育プログラムの一環として全学生を対象に実施した。

##### b. キリスト教フォーカス・ウィーク(春季・秋季)

各界で活躍する著名なクリスチャンを講師として1時間のロングチャペルを行った。

##### ○春季(5月31日～6月2日)

5月31日 森祐理(福音歌手)

テーマ：「悲しみは悲しみで終わらない」

講 話：「弟の命の意味をかみしめながら」

6月1日・2日 栗林輝夫(関西学院大学法学部教授、宗教主事)

テーマ：「青春の日々にあなたの創り主を覚えよ」

講 話：1日目「立って行きなさい」

2日目「地の基い震えるとも」

##### ○秋季(11月29日～12月1日)

11月29日・30日 田口昭典氏(金沢キリスト教会牧師)

テーマ：「我ここに立つ」

講 話：1日目「神が備えて下さった道」

2日目「主イエスと共に歩む道」

12月1日 岡野昌雄氏(国際基督教大学名誉教授)

テーマ：「わたしは誰でしょう」

講 話：「わたしは誰でしょう」

##### c. 主な刊行物

- ・週報「使者」(週間のチャペルプログラム)
- ・チャペル講話集
- ・宗教部案内
- ・ボランティアガイドブック

##### d. その他

人格教育の強化に資するため、大学宗教部主催により、次のような事業を実施した。

- ・公開演奏会：ベイラー大学ピアノ・クラリネットデュオリサイタル(7月7日)
- ・公開講演会：佐々木和之・奥田知志講演会(11月4日)
- ・オルガンコンサート：大塚直哉氏(東京藝術大学)(6月4日)

廣江理枝氏(東京藝術大学)(10月8日)

- ・卒業礼拝(2012年3月21日)
- ・クリスマスツリー・ディスプレイ点灯式(11月25日)
- ・キャンドル・サービス(12月20日)
- ・東日本大震災ボランティア(9月、11月に岩手県・宮城県で実施)
- ・宗教部リトリート・宗教部関係者懇談会(2012年2月23日)
- ・海外ボランティア・ワークキャンプ(2012年2月24日～3月5日)
- ・第41回ファカルティ・リトリート(2012年3月7日)

② カリキュラムの充実

教育研究上の目的を達成するための具体的な方針を示す「3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)」を作成し、2010年度からホームページに公表している。また、ディプロマ・ポリシーと現行のカリキュラムの整合性をチェックするためのカリキュラム・マップを作成のうえ、今後のカリキュラムの整備と充実に活用するようにしている。

③ 教育内容・方法の充実

ア. 教育交流の充実として、学部学生が留学生別科の科目を臨時開講科目として履修できる制度を設け、2010年度から実施している。

イ. 各学部・学科のキャリア・ガイダンスを作成し、2011年4月にホームページに公表した。

ウ. シラバスについては、2010年度より一部公開し、2012年3月には全文を公開した。

エ. 国際交流

a. 協定校

5つの協定校が追加され、11大学34校となった。2011年度に協定校を締結した大学は、アメリカのユタ州立大学、イギリスのリージェンツ・カレッジ・ロンドン、オランダのアムステルダム応用科学大学、中国の華東師範大学、韓国の高麗大学校であった。

b. 派遣留学生

1学期または1学年間、協定校に留学した海外派遣留学生は49名であった。夏季・春季休暇中の短期語学研修は、11か国13校で実施して、251名が参加した。2011年度から新規の短期語学研修校として、イタリアのトリノ大学が加わった。これにより短期語学研修で学ぶことができる言語は、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語に加えてイタリア語の6言語となった。

c. 受入れ留学生

留学生別科では、主に協定校からの交換留学生を受け入れて、日本語の他に、日本の文化、社会、経済等に関する20科目を英語により提供した。2011年度は、56名の交換留学生を受け入れた。また、海外の大学生を対象とした1か月間の日本語集中講座である夏期日本語研修には、アメリカ、フランス、中国など4か国25名が参加した。定員は40名であったが、東日本大震災の影響により、例年になく参加者が少なかった。

d. 交換教授・研究員

2011年度は、イギリス、タイ、中国、韓国から交換教授、客員研究員4名を受け入れた。また専任職員が、交換職員として協定校のエクスマルセイユ大学(旧：ポール・セザンヌ・エクスマルセイユ第3大学)に派遣され、2週間の研修を受けた。

e. その他交流事業

本学と米国バイラー大学の姉妹校協定締結40周年を記念して、バイラー大学音楽部のピアニストらによる「ピアノ・クラリネットデュオリサイタル」を本学で開催した。

④ 大学間連携の強化

ア. 継続中の大学間連携

- a. 九州大学、福岡女子大学と本学との包括連携を核として、国公私立大学コンソーシアム・福岡、Q-Links(九州地域大学教育改善FD・SDネットワーク)、福岡西部地区5大学連携等の複数の大学間連携事業を推進した。また、2011年度から福岡西部地区5大学の単位互換制度を設けた。
- b. 本学大学院神学研究科とアジアバプテスト神学大学院との間で、相互の神学教育・研究促進を目的に連携事業を推進した。
- c. 九州大学、福岡女子大学とともに発足した、日本における欧州連合(EU)の高度な学術研究拠点としてのEU Institute in Japan(EUIJ)九州において、学部学生や大学院生を対象にEUをテーマにした科目を履修できる「ディプロマプログラム」を新設した。本学からは76名がこのプログラムに参加し、16名がディプロマプログラム終了申請し、すべて修了認定を受けた(残りの者は継続中)。本学でシンポジウムおよび国際会議を開催したり、留学生への奨学金提供、研究者への助成なども行った。また、2011年度から単位互換制度を設けた。

イ. 新規の大学間連携

- a. 本学大学院法学研究科とエクスマルセイユ大学(旧：ポール・セザンヌ・エクスマルセイユ第3大学)との間で両大学の修士課程・博士課程の大学院生を対象に主に日本法、ヨーロッパ法を修得させることを目的に覚書を締結した。また、コンソーシアム・福岡の当初目標の共同大学院の設置については、2012年3月に「共同大学院設置構想検討委員会」が設置され、引き続き共同大学院の設置について検討を行っていく。
- b. 本学大学院法学研究科とエクスマルセイユ大学(旧：ポール・セザンヌ・エクスマルセイユ第3大学)法学研究科との間で、両大学の修士課程・博士課程の学生に日本法、ヨーロッパ法を修得するための教育コースを提供する連携協定を締結した。交換学生が、外国法システム専攻国際プログラム「ヨーロッパ法・日本法」コースを修了した場合、フランス政府から「マスター2・企業法」の学位が授与される。この連携協定は、全国で中央大学に次いで2番目となる。
- c. 本学は、アジア経済の発展に寄与する人材育成を目的に、上海交通大学(中国)、釜慶大学校(韓国)と共同して、約3週間の日中韓大学共同授業―東アジア文化交流プログラム―を実施した。これは、3大学から選抜された各10名、合計30名が1クラスを作り、夏季休暇中に3大学を巡回しながら、福岡、上海、釜山という港湾都市の文化、経済、社会に関する講義(文化探訪を含む)を受講する

プログラムである。講義はすべて英語で行われた。

⑤ 学部・学科の新設(人間科学部心理学科)

人間科学部に心理学科を開設するために、2011年度に文部科学省へ必要な手続きを行うとともに、心理学科設置に伴って必要となる学内の組織、制度、施設・設備の整備を進めた。文部科学省における人間科学部心理学科の届出申請が2011年6月20日に受理されたことにより、2012年4月に開設する予定である。

⑥ 教育・研究支援

ア. 副学長(教育・研究担当)の新設

本学の教育・研究の推進並びに発展に関する事項全般を担当する新しい役職として、2011年7月から副学長(教育・研究担当)を新設した。これに伴い、従来(2003年7月設置)の副学長は副学長(総務担当)となり、副学長2名体制となった。

イ. 大学奨学基金の充実

大学第11次財政計画に基づき、大学奨学基金及び教育研究振興基金として、それぞれ5,000万円を積立てた。これまでの累計額は大学奨学基金10億3,000万円、教育研究振興基金5億2,000万円である。今年度から成績優秀者奨学金制度を導入し1,310万円を支給するとともに、緊急支援のための奨学金についても1,080万円を支給した。

ウ. 教育・研究の特色強化のための資金の増額

2010年度から、大学では「特色ある学部教育実施経費」を3,500万円増額し、各学部・学科が希望する教育の実現を支援した。学部では、全学規模でも双方向の授業を可能とする機器を導入した。大学院では「大学院給付奨学金」を給付し、さらに、博士前期課程及び博士後期課程の大学院生を対象に個人研究用図書費(電子データを含む)の一部補助の給付を行った。法科大学院では昨年に引き続き、教育環境整備のための機器を拡充した。

エ. 教育研究推進機構

教育・研究推進機構では、学内GP制度と共同研究育成制度を募集し、学内GP制度では3件、共同研究育成制度では1件を採択した。学内GPのプロジェクトは14件、共同研究のプロジェクトは5件が実行された。

オ. 文部科学省GP採択事業

「文部科学省GP」に採択されている以下の2つの事業を継続的に支援した。

- a. 国公立大コンソーシアム・福岡一地域からアジアへ、環境・エネルギー問題に挑むー(平成20年度戦略的大学連携支援事業)
- b. 将来の進路を展望した人間力・学士力向上プログラム(平成21年度大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム)

カ. 西南学院大学教職員による奨学金制度の創設

本学教職員有志及び本奨学金制度の趣旨に賛同される方の寄付金を原資とし、経済的理由により学資の支弁が困難な学部学生を支援するための奨学金制度を創設した。2011年度の寄付総額は2,978,000円であった。

## B. 社会貢献の充実と強化のために

### ① 学外連携強化

福岡市の教育改革プログラム「21世紀の福岡市らしい教育の推進」の取り組みのひとつとして、2004年度にスタートした「学生サポーター制度」について、本学は初年度から福岡市と協定を結び、市立学校や幼稚園の授業の補助、課外活動の支援等のために学生を派遣している。2011年度からは、筑紫野市とも同様の取り組みを始めた。

### ② 生涯学習の充実

#### ア. 公開講座の開講

- a. ビジネスの未来像
- b. 東日本大震災がもたらした課題 ー大規模災害対応への基礎力ー
- c. 今、世界の経済は

#### イ. リカレント講座および西南コミュニティーセンター主催講演会

- a. 続社会人のための TOEIC 対策講座
- b. 発音の基礎から学ぶ中国語
- c. 楽しい英語読書入門
- d. 美しくてかなしいものを撮る「TV ドキュメンタリスト木村栄文の軌跡」

### ③ 博物館の充実

#### ア. 春季特別展「海流に魅せられた島天草 -祈りの原点とキリシタン文化-

2011年6月6日～7月13日

※日本財団および船の科学館・海と船の博物館ネットワークから助成を受け開催

#### イ. 秋季特別展「アイコン-東西聖像画の世界 -」2011年11月2日～12月10日

#### ウ. 企画展「蒙古襲来絵詞と元寇防塁」2010年12月21日～2011年5月18日

#### エ. 企画展「シーボルト著「日本」にみる近世 NIPPON」 2011年7月19日～2011年10月22日

#### オ. 企画展「古写真にみる西南学院」2011年12月20日～2012年5月15日

#### カ. 実習生企画展「西南大事“展”」2011年9月2日～10月13日

#### キ. 特別展関連公開講演会を2011年4月～2012年3月まで計2回開催

#### ク. せいなんこどもワークショップ(小学生対象)2011年4月～2012年3月まで計7回開催

## C. 教育と研究の環境整備のために

### ① 言語教育センター竣工

旧耐震基準に基づき設計・建築されている3号館(1964年竣工)校舎内に設置されている言語教育センターを、6号館及び自然科学館跡地に新築し、併せて老朽化が著しかった語学教育機器を最新機種に入れ替えた。これにより語学教育の更なる成果向上が期待される。なお、3号館は、2012年度夏季に解体を予定している。

### ② 情報処理環境の整備

仕様策定、各種情報機器の選定、要件定義等の作業を経て、2011年度の SAINS 更新を完了した。

### ③ 将来の施設建設資金

大学第11次財政計画に基づき、体育館2億円、西南会館5,000万円及びメディア



棟(仮称)に5億円を積立てた。また、今後の中央キャンパスの整備計画に備えるため3億円を施設・設備拡充引当特定資産として設定し、資金を留保した。

④ 学生証及び教職員名札のICカード化

ICカード検討に関するプロジェクトチームからの提言に基づき、2012年度からの学生証、教職員名札のICカード化に取り組み、利便性向上(効率化)、セキュリティ強化に向けた環境整備を推進した。

⑤ エコキャンパスの推進

大学環境マネジメント委員会の各委員会において、省資源、省エネルギー、グリーン購入の推進及び廃棄物の減量と適正管理などをはじめとする活動を進め、大学内の環境負荷の低減に努めた。また、省エネに関する啓発活動も検討・実施した。

⑥ 大学キャンパスグランドデザインの策定

大学キャンパスの施設整備長期計画をキャンパスグランドデザインとして再策定する取組みに、2011年10月から着手し2011年3月末に完了した。

本学の大学キャンパスグランドデザインは、2023年を目標にした将来のイメージや大きな基本方針を示したマスタープランであり、整備の基本方針において、人・環境・地域の新たなあり方を世界に向けて発信する『地のガーデンキャンパス』～地域とつながる100年の庭づくり～をコンセプトに、以下の3つを基本方針の柱としている。

1. 本学を発信する5つの顔づくり
2. 未来の大学インフラのあり方を提示するキャンパス
3. 地域に開かれ、地域に貢献するキャンパス

最終的に成果物としてとりまとめた報告書は、全6章にわたるもので、上記の3つの柱ごとに、施設の建替えや屋外広場、歩行者空間等をどのような視点で整備するかといった方針や、それを実現するための配置計画や施設イメージ、段階的な整備順序等を示している。また地域社会に開かれ地域に貢献するキャンパス、省エネや防災対策にも配慮したキャンパスづくりの方針をも示しており、これからの大学キャンパスの理想的な絵姿を提示する内容を兼ね備えている。

D. 東日本大震災被災地支援活動

被災地でのボランティア活動は、東北学院大学が中心となって全国14大学で取り組んだ大学間連携災害ボランティアネットワークへの参加及び日本バプテスト連盟及び遠野まごころネットの協力を得て本学独自の活動を実施した。これらの活動にかかる経費は、大学で予算化して支援した。

① 東日本大震災被災者支援緊急募金

学内ボランティアグループや教職員による学内義援金活動を実施した。

② 東日本大震災ボランティア(夏季)現地派遣

ア. 岩手県遠野市(日本バプテスト連盟、遠野まごころネット)

学生20名、引率職員2名(9月6日から9月10日)

イ. 宮城県気仙沼市(大学間連携災害ボランティアネットワーク)

1班 学生5名、引率職員1名(9月2日～9月9日)

※この班の反省会を9月13日に開催

- 2班 学生7名、引率職員1名(9月9日～9月16日)
- 3班 学生8名、引率職員1名(9月16日～9月23日)
- ③ 東日本大震災ボランティア(秋季)現地派遣(日本バプテスト連盟)
- ア. 岩手県遠野市 学生14名、引率職員2名(11月12日～16日)
- イ. 宮城県仙台市 学生12名、引率職員2名(11月18日～22日)
- ④ 反省会及び報告会の実施
- ア. 東日本大震災ボランティア(夏季)反省会(9月28日)
- イ. 東日本大震災ボランティア(夏季)報告会(10月2日)
- ウ. 東日本大震災ボランティア(秋季)反省会(12月7日)
- ⑤ クリスマスカードの送付
- 日本バプテスト連盟を通じて実施した岩手県及び宮城県の仮設住宅ボランティアに参加した学生が、訪問した仮設住宅全世帯に対してクリスマスカードを作成し贈呈した。
- ⑥ その他
- 神学部及び人間科学部児童教育学科の学生が、所属ゼミを中心とした被災地でのボランティア活動を実施するにあたり、その経費の一部を大学が負担して活動を支援した。

### (3) 中学校・高等学校

#### A. 中学校・高等学校の動きについて

少子化と経済不況の中で、私立学校は大きな試練に直面しており、定員の確保が大きな課題となっている。周辺私立学校の校舎の改装や男女共学化、大学との系列化などが進められており、これら改革の先発校であった本校の優位性をどう保ち、「教育の西南」をアピールしていくかが課題となっている。幸いにも本校は志願者に恵まれ、2012年度も必要な生徒数を確保することができた。

また、2012年度大学入学試験の結果において、国公立大学に146名(うち九州大学に56名)の合格者を出すなど、順調な結果を残すことができた。主な大学への合格実績は以下のとおりである。

#### 主な大学合格実績(2012年3月現在)

東京大学	1名	一橋大学	2名	大阪大学	3名	東京工業大学	1名
北海道大学	2名	筑波大学	3名	神戸大学	9名	広島大学	9名
九州大学	56名	九州工業大学	5名	長崎大学	8名	熊本大学	2名
西南学院大学	173名	早稲田大学	34名	慶應義塾大学	20名	上智大学	6名
国際基督教大学	2名	青山学院大学	23名	同志社大学	38名	立命館大学	66名

#### B. 2011年度の主な事業

##### ① 西南学院小学校との連携について

2014年度から始まる西南学院小学校からの生徒受け入れについて、中学校・高等学校としての受け入れ方針の大枠を検討し決定するとともに、小学校との間で「小中高連携検討委員会」を設置し、協議を進めている。

##### ② 広報活動の充実

入試広報検討委員会を校務分掌に設け、入試広報の具体的な検討と対応を行った。

##### ③ 教育カリキュラムの見直し

新学習指導要領に対応するため、2012年度以降の教育課程表の改訂を行うとともに、教員スタッフの充実などを行った。

##### ④ 学院創立100周年事業についての基金の設置

現在、学院創立100周年事業の一つとして体育館の空調化及び校舎空調機器の取り換えを検討しており、空調機器設置のための基金を設け、継続して積立を行っている。

##### ⑤ アトリウムへの落下物防止

アトリウムへの不注意による落下物防止を図るための改修工事を行った。

##### ⑥ 中学校・高等学校保健室の一体化

中高一貫校としての保健室機能の充実を図るため、中学校と高等学校に分かれていた保健室を一部屋に統合する改修工事を行った。

##### ⑦ らせん階段、女子トイレ改修工事

特に女子生徒への配慮として、改修工事を行った。

⑧ 圃場整備、ハンドボールコート整備など

教育的観点から、特に対応が必要な箇所の整備を行った。

なお、事業計画に掲げていた(1)学校評価の検討(2)奨学事業の充実の2点については、具体的な進展をみることができなかった。

C. 学友会活動の2011年度の主な実績

① 高等学校

「九州大会」

- ・ヨット部女子FJ級：第39回九州高等学校ヨット競技大会(宮崎県)
- ・女子ハンドボール部：全国高校選抜九州地区予選(沖縄県)
- ・男子ハンドボール部国体九州ブロック大会出場：永田、玉、安森、川邊(3年)
- ・写真部：福岡県高校総合文化祭：大賞：前田(3年)、小野口(2年)
- ・囲碁同好会：全九州高校囲碁選手権男子団体6位(沖縄県)
- ・吹奏楽部：九州アンサンブルコンテスト：金賞3位(熊本県)

「全国大会」

- ・男子ハンドボール部：全国高校総合体育大会(岩手県)
- ・ヨット部女子FJ級：全国高校総合体育大会(秋田県)

② 中学校

「九州大会」

- ・硬式テニス部：中体連九州大会：男子ダブルス準優勝：梅本、阿部  
男子ダブルス4位：廣松、松原(長崎県)  
：新人戦九州大会：男子団体戦出場(宮崎県)

「全国大会」

- ・陸上部：ジュニアオリンピック：女子走り幅跳び：堀真弓(神奈川県)  
：日本ジュニア室内陸上：男子60mハードル：勝元森羅、北原健(大阪府)

D. 東日本大震災被災地支援活動

① 東日本大震災被災者支援緊急募金

3月14日、15日(校内募金)

3月16日、17日(街頭募金)

連日100名を超える生徒諸君が西新、藤崎一帯での街頭募金に立った。その結果、中高での校内募金、街頭募金を併せて、総額350万円を超える募金が集まった。

② 被災地に歯ブラシを！

九州歯科大学に進学した卒業生からの呼びかけにより、歯科医や口腔ケア関係者提唱のプロジェクトに参加した。中型段ボール箱三杯分の大量の歯ブラシが寄せられ、九歯大の取り組みチームの手を経て、被災地の方々にお届けした。

③ 「復興の狼煙(のろし)」ポスター展

釜石市、大槌町の風景をバックに、復興に向けて立ち上がろうとする方々の姿を撮った「復興の狼煙ポスタープロジェクト」による40枚の写真展を開催した。

④ 「金丸通信」掲示

震災直後の仙台(仙台北教会)に転任された、元福岡有田教会牧師(本校のチャペルにもご協力)の金丸先生が現地での出会いをまとめた私信「金丸通信」をエントランスホールに掲示した。

⑤ その他

クリスマス献金、中高生徒合同によるクリスマス街頭募金、後援会母の会での献金、高校文化祭バザー売り上げの一部が震災支援団体に寄付された。

#### (4) 小学校

##### A. 小学校開校2年目の動き

2011年4月1日現在、教職員24名(専任教員12名、常勤講師1名、非常勤講師4名、専任職員1名、嘱託職員5名、臨時職員1名)を配置し、西南学院小学校が開校2年目を迎えた。4月5日に転入学式を行い、3年生14名が入学。引き続き4月8日に入学式を行い、1年生71名が入学、1年生から4年生までの児童総数は279名となった。

##### B. 教育プログラムの推進

開校初年度に引き続き2年目も、本校独自の教育プログラムを積極的に展開した。昨年度の反省点を踏まえながら各行事の改善に取り組み、ネイバーキャンプ、ネーチャーキャンプ、スポーツフェスティバルやアセンブリーなどの縦割教育、春・秋に実施するアートウィークなどの芸術鑑賞、ミッションウィークやクリスマス礼拝などのキリスト教に関する行事など、多彩な年間プログラムを実施した。また、西南学院大学の留学生と各年次が交流会を行うなど、ウイングタイムを利用した特別授業を実施することができた。

##### C. 転入学試験の実施

入学定員を満たしていない3年生について、転入学試験を実施して児童の充足を行った。結果として、2011年度の新3年生として14名の児童が転入学することになり、財政負担の軽減、教育活動の充実を図ることができるようになった。

##### D. 後援会組織の発足

後援会発足2年目を迎え、後援会からの援助により、図書館の蔵書数を大幅に増やし、また、校内外の環境整備を更に進めることができた。また、後援会有志のボランティアによる児童の登下校時の見守り活動など、物心両面におけるサポートを受け、児童が快適な学校生活を送ることができた。

##### E. 東日本大震災被災地支援活動

児童・保護者から寄せられたクリスマス献金の一部(103,361円)を義援金として寄付した。また、4年生が中心となって校内でベルマークを収集し、約25,000点をベルマーク財団に送付し、財団を通じて被災地に寄贈された。

## (5) 舞鶴幼稚園

### A. 地域や保護者向けの子育てに関する情報発信

- ① 舞鶴幼稚園の保育の特徴については、ホームページで、園の行事や保育活動の写真を掲載し、行事ごとに更新してアピールしている。
- ② 全学年で7クラス体制の維持は、2011年度は園児数が175名を確保できた。しかし2012年度は、年少の花組の入園児が少なく、全園児数が前年度より減少している。花組は、入園児の保護者の不安を喚起しないように、3クラスで開始して現在7クラスを維持している。常時、入園・転園希望の見学者などに保育の質の良さをアピールして園児数を増やす努力を続ける。
- ③ 子育て支援については、未就園児クラスを2011年度後半の部分は入園を希望し願書を出した幼児に限定した。預かり保育については、週4回行っていたものを5回に増やし充実させた。
- ④ 地域子育て支援の活動は、「親子で遊ぼう会(7回)」等を実施したが、7月の西南学院フェアは天候が悪かったため実施を見送った。

### B. 中長期計画

中長期計画として、下記のように、園の経営的安定と学院内の連携推進が課題として挙げられる。

- ① 国の子ども・子育て新システムがまだ検討中のため、園としての対応も考慮中である。
- ② 保育資質向上のための園内研修として、大学児童教育学科教員等を交えての研修会を開催する。
- ③ 西南学院内での連携は、今後の課題のまま残されている。
- ④ 園舎の点検、不具合の改修については、順次緊急を要する箇所、可能な箇所から進めている。
- ⑤ 2013年の舞鶴幼稚園創立100周年に向けての記念事業計画及び準備は、学院の100周年記念事業検討委員会と連携してシールや一筆箋などを作成し、100周年のアピールをしながら、記念行事及び100周年記念誌作成を進めている。

### C. 東日本大震災被災地支援活動

- ① 2011年3月15日の卒業式の日から募金活動を開始し、終園までの3日間で約15万円の募金が集まった。
- ② 終園後も募金箱を設置し、登降園時は教師が募金箱を持って募金活動を行った。
- ③ 6月、11月及びクリスマスに災害支援献金としてキリスト教保育連盟に合計176,979円を送金した。

## (6)早緑子供の園

西南学院の保育所として、キリスト教を柱に一人ひとりを大切にする保育の実現を目指し、日々の保育に励んできた。年々園児の保育時間が長時間化している中にあり保育現場も多忙化しているが、集団の中の個人を尊重しながら日々の保育を進めている。

### A. 保育内容の充実

日常の保育はもとより、地域活動・延長保育・障害児保育などの特別保育事業についても充実を図った。また、他の幼稚園や保育所から保育や施設見学の希望も増えており、加えて、園の保育士に対して研究会などでの実践発表の依頼も多く、保育の質の面で一定の評価を得てきたと考えられる。

### B. 西南学院大学との連携

西南学院大学児童教育学科の学生が講義や卒論研究で園を訪れる機会が増えるなど、学院全体のつながりを深めることができた。保育士志望の学生が、保育所保育の本質を理解して実践の場に出ることができるよう、保育実習時の実習内容計画や指導方法を再考した。保育そのものや保育技術を語る力をつけ、保育士にとっても保育実習を自らの保育を省察する機会として今後も捉えていきたい。

### C. 地域への貢献

地域からの要望も強く、育児サークルでの出張講義や園で行う育児相談会など、園の保育士の経験知を活かして地域へ貢献する機会が多かった。一方、社会問題となっている待機児童については、在園児が常時定員を大幅に超えている状態であるため、新規の受け入れ人数を増やすことができず、さらに増大している。園も入所希望者の対応に追われており、継続の課題である。

### D. 施設の充実

施設・設備の総点検を行った。また、建築時より園児数増・保育時間の長時間化も顕著であるため、実情に応じた整備が必要となっており、床暖房など早急に必要とされる修理などに加え、今後計画的に改修を進める予定である。

### E. 東日本大震災被災地支援活動

募金箱の設置をし、義援金を募った。また、宮城県のボランティアチームと関わりのある卒園児保護者からの依頼を受け、現地ですぐに必要な物資を募った。その保護者が作成した現状を説明するおたよりとその時に必要な物資のリストを掲示し、子どもの靴、マタニティグッズ、防寒具、食品など、保護者・職員共に積極的に協力を行った。



## 2. トピックス

### (1) 各学校・園行事 (2011年4月～2012年3月)

	(1) 学院本部・事務局	(2) 大学
4月	・新任教職員オリエンテーション(4日) ・キ学教同盟西南地区協議会総会(22日)	・入学式(1日) ・オリエンテーション(2～5日) ・前期授業開始(学部・大学院:6日、法科大学院:4日)
5月	・学院創立記念式典(13日)	・留学生別科終了式(12日) ・学院創立記念式典(13日) ・九州六大学野球春季応援合戦(14日) ・春季キリスト教フォーカスウィーク(31日～6月2日)
6月	・キ学教同盟総会(10～11日) ・キ学教同盟西南地区中高聖書科研修会(16～17日) ・日本バプテスト連盟事業体懇談会(24日)	
7月	・西南学院フェア(1～31日)	・入試説明会(2・4～9・11～13・15日) ・前期試験(学部:28日～8月5日、 法科大学院:25日～8月5日) ・オープンキャンパス(西南学院フェア)(30～31日)
8月	・キ学教同盟西南地区夏期学校(3～5日) ・キ学教同盟西南地区新任教師オリエンテーション (3～5日) ・キ学教同盟西南地区校長会(3日) ・キ学教同盟西南地区事務職員研修会(18～19日) ・職員夏期修養会(22～23日)	・夏季休暇(学部・大学院:6日～9月14日、 法科大学院:6日～9月9日) ・留学生別科入学式(25日)
9月	・キ学教同盟大学部会研究集会(8～9日) ・キ学教同盟西南地区大学部会研究会(20～21日)	・大学院秋期入試(3日) ・後期授業開始(学部・大学院:15日、法科大学院:12日) ・教職員懇談協議会(14日) ・法科大学院入試(法学未修者試験・法学既修者試験) (17～18日) ・地区別修学懇談会(19・25日) ・前期卒業証書・学位記授与式(21日)
10月	・伝道者養成に関する協議会(26日)	・ホームカミングデー(1日) ・地区別修学懇談会(9・16・23・30日) ・3年次転・編入等、帰国生入試(22日)
11月	・キ学教同盟西南地区事務長会(7～8日) ・日本バプテスト連盟定期総会(9～11日) ・キ学教同盟全国学校代表者協議会(12日)	・大学院オープンキャンパス(5日) ・各種推薦等、2年次転・編入、外国人入試 (5・10～11日) ・大学祭(10～13日) ・秋季キリスト教フォーカスウィーク(29日～12月1日)
12月	・西南学院教職員クリスマス(14日) ・西南学院コミュニティクリスマス(22日)	・キャンドルサービス(20日) ・冬季休暇(学部・大学院・法科大学院:23日～1月5日)
1月	・キ学教同盟西南地区校長会(20日)	・大学入試センター試験(14～15日) ・後期試験(学部:25日～2月2日、 法科大学院:23日～2月8日)
2月		・一般入試(6～10日) ・一般入試、センター試験利用入試(前期)、 一般入試及びセンター試験併用型入試合格者発表 (23日) ・大学院春期入試(24～25日) ・法科大学院入試(法学既修者試験)(11～12日)
3月		・西南ファカルティトリート(7日) ・センター試験利用入試(後期)合格者発表(13日) ・卒業礼拝、卒業証書・学位記授与式(21日)

※キ学教：キリスト教学校教育同盟

	(3) 高等学校	(4) 中学校
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式(7日)</li> <li>・始業式(8日)</li> <li>・新入生オリエンテーション(11～12日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式(7日)</li> <li>・始業式(8日)</li> <li>・1年学院紹介オリエンテーション(12日)</li> <li>・2年集団生活(26～28日)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後援会総会(7日)</li> <li>・学院創立記念式典(13日)</li> <li>・中間考査(19～23日)</li> <li>・前期ミッションウィーク(25～27日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学院創立記念式典(13日)</li> <li>・中間考査(19～20日)</li> <li>・後援会総会(25日)</li> <li>・前期ミッションウィーク(23～24日)</li> <li>・同和特設授業(30日)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同和特設授業(1～3日)</li> <li>・期末考査(24日～29日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスマッチ(3日)</li> <li>・期末考査(27～29日)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員聖書研究会(8日)</li> <li>・文化祭(15～16日)</li> <li>・終業式(19日)</li> <li>・前期補習(20～29日)</li> <li>・韓国からの旅(30日～8月2日)</li> <li>・訪豪研修旅行(30日～8月13日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員聖書研究会(8日)</li> <li>・中体連開会式(16日)</li> <li>・終業式(19日)</li> <li>・韓国からの旅(30日～8月2日)</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期補習(1～4日)</li> <li>・後期補習(17～26日)</li> <li>・中・高教員研修会(29～30日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季補習(17～24日)</li> <li>・中・高教員研修会(29～30日)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(1日)</li> <li>・スポーツフェスティバル(7～9日)</li> <li>・教員聖書研究会(29日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(1日)</li> <li>・体育祭(19日)</li> <li>・教員聖書研究会(29日)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間考査(5～7日)</li> <li>・2年生林間学校(17～21日)</li> <li>・1年・3年遠足(21日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間考査(5～6日)</li> <li>・学年別遠足(7日)</li> <li>・同和特設授業(17日)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期ミッションウィーク(16～18日)</li> <li>・クリスマスツリー点灯式(17日)</li> <li>・教員聖書研究会(25日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱発表会(4日)</li> <li>・後期ミッションウィーク(7～9日)</li> <li>・クリスマスツリー点灯式(17日)</li> <li>・教員聖書研究会(25日)</li> <li>・期末考査(30日～12月2日)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末考査(1～6日)</li> <li>・クリスマス礼拝(8～9日)</li> <li>・フェアウェルパーティ(20日)</li> <li>・終業式(22日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス礼拝(13日)</li> <li>・終業式(22日)</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(10日)</li> <li>・専願入学試験(24日)</li> <li>・専願入試合格発表(26日)</li> <li>・教員聖書研究会(27日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(10日)</li> <li>・入学試験(18日)</li> <li>・合格発表(20日)</li> <li>・教員聖書研究会(27日)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期入学試験(3日)</li> <li>・前期入試合格発表(7日)</li> <li>・後期入学試験(11日)</li> <li>・後期入試合格発表(14日)</li> <li>・期末考査(24～29日)</li> <li>・卒業礼拝(29日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学説明会(4日)</li> <li>・3年修学旅行(8～10日)</li> <li>・期末考査(22～24日)</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式(1日)</li> <li>・終業式(21日)</li> <li>・入学説明会(22日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業礼拝(6日)</li> <li>・修了式(14日)</li> <li>・終業式(21日)</li> </ul>

	(5) 小 学 校	(6) 舞 鶴 幼 稚 園
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(5日)</li> <li>・入学式(8日)</li> <li>・ウェルカムアセンブリ(15日)</li> <li>・アチーブメントテスト(19日)</li> <li>・後援会講演会(20日)</li> <li>・イースターチャペル(22日)</li> <li>・学級懇談会(23日)</li> <li>・防犯教室(26日)</li> <li>・ホームアセンブリ(27日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始園式(11日)</li> <li>・入園式(13日)</li> <li>・家庭訪問(14日)</li> <li>・教会学校開始(18日)</li> <li>・母の会総会(22日)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェルカムピクニック(6日)</li> <li>・学院創立記念式典(13日)</li> <li>・学習参観(17日)</li> <li>・避難訓練(19日)</li> <li>・ミッションウィーク(23～24日)</li> <li>・春のアートウィーク(31日～6月8日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父母礼拝開始(6日)</li> <li>・交通安全教室(10日)</li> <li>・未就園児保育・預かり保育開始(12日)</li> <li>・学院創立記念式典(13日)</li> <li>・光組社会見学(17日)</li> <li>・ミニ講演・育児相談(17日)</li> <li>・親子であそぼう会開始(18日)</li> <li>・父親参加の日(22日)</li> <li>・歓迎遠足(24日)</li> <li>・防災訓練(26日)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後援会総会(3日)</li> <li>・花の日チャペル(感謝訪問)(9日)</li> <li>・個人懇談(15～22日)</li> <li>・音楽鑑賞会(29日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の日礼拝(13日)</li> <li>・ミニ講演・育児相談(23日)</li> <li>・光組社会見学(23日)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開・説明会(西南学院フェア)(2日)</li> <li>・学期末懇談会(6～7日)</li> <li>・ネイチャーキャンプ(22～23日)</li> <li>・学期末テスト</li> <li>・平和学習(26日)</li> <li>・終業式(27日)</li> <li>・ネイバーキャンプ(27～28日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏まつり(10日)</li> <li>・1学期終業(19日)</li> <li>・夏期休暇開始(20日)</li> <li>・未就園児対象ちびっこ水あそび(西南学院フェア)(20日)</li> </ul>
8月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期保育(18～22日)</li> <li>・光組合宿保育(23～25日)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(1日)</li> <li>・夏休み作品展(5～12日)</li> <li>・入試説明会(10日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期始業(2日)</li> <li>・教会学校開始(5日)</li> <li>・未就園児対象ちびっこどろんこあそび(7日)</li> <li>・ミニ講演(8日)</li> <li>・父母礼拝2学期開始(9日)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツフェスティバル(15日)</li> <li>・避難訓練(21日)</li> <li>・ミッションウィーク(19～20日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会(8日)</li> <li>・新年度入園募集説明会(13日)</li> <li>・光組社会見学(14日)</li> <li>・親子であそぼう会(19日)</li> <li>・月組お泊り保育(20～21日)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンクスギビングチャペル(2日)</li> <li>・グループアセンブリ(15日)</li> <li>・入学試験(18～19日)</li> <li>・舞台芸術鑑賞(21日)</li> <li>・合格発表(28日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児面接(2日)</li> <li>・みかん狩り遠足(4、8日)</li> <li>・感謝祭礼拝(7日)</li> <li>・子育て講演会(28日)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋のアートウィーク(1～9日)</li> <li>・学習参観・懇談会(2日)</li> <li>・学期末テスト</li> <li>・クリスマスチャペル(21日)</li> <li>・終業式(22日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマス祝会(8、10日)</li> <li>・クリスマス礼拝(19日)</li> <li>・2学期終業(20日)</li> <li>・冬期休暇(21～日)</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業式(10日)</li> <li>・アチーブメントテスト(16日)</li> <li>・ブレインオリンピック(26日)</li> <li>・新1年生入学説明会(28日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期始業(10日)</li> <li>・教会学校開始(16日)</li> <li>・親子であそぼう会(18日)</li> <li>・親子もちつき大会(21日)</li> <li>・父母礼拝3学期開始(27日)</li> <li>・未就園児クラス募集説明会(30日)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬のアートウィーク(13～20日)</li> <li>・学習発表会(17日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春を呼ぶ会(15、22、29日)</li> <li>・光組社会見学(21日)</li> <li>・母の会総会(24日)</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末テスト</li> <li>・学習参観・懇談会(7日)</li> <li>・修了式(23日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業礼拝(4日)</li> <li>・卒業式(17日)</li> <li>・終業式(19日)</li> <li>・カリキュラム研究会(22日)</li> <li>・新入園児健康診断日(23日)</li> <li>・子ども同窓会(24日)</li> </ul>

(7) 早緑子供の園	
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園式(1日)</li> <li>・保育開始(1日)</li> <li>・幼児クラス保護者懇談会(15日)</li> <li>・イースター礼拝(18日)</li> <li>・乳児クラス保護者懇談会(22日)</li> <li>・年長児社会見学1(26日)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春季総合検診(10日)</li> <li>・学院創立記念式典(13日)</li> <li>・保護者会総会(14日)</li> <li>・親子遠足(14日)</li> <li>・保育園で遊ぼう会1(28日)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の日礼拝(13日)</li> <li>・年長児社会見学2(14日)</li> <li>・交通安全教室(22日)</li> <li>・育児講座1(25日)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園で遊ぼう会2(西南学院フェア)(2日)</li> <li>・歯科検診(5日)</li> <li>・さみどりこどもまつり(西南学院フェア)(16日)</li> <li>・プール開き(26日)</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生の集い(2、9日)</li> <li>・お泊り保育説明会(26日)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季総合検診(4日)</li> <li>・卒園記念製作(やきものづくり)(13日)</li> <li>・保育園で遊ぼう会3(17日)</li> <li>・おじいさん・おばあさんと遊ぶ会(21日)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児クラス保育体験会(1日)</li> <li>・秋季総合検診(4日)</li> <li>・幼児クラス保育体験会(7日)</li> <li>・運動会(22日)</li> <li>・幼児クラス遠足(26日)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度入所申込書配布開始(1日)</li> <li>・幼児クラス保育体験会(5日)</li> <li>・感謝祭礼拝(7日)</li> <li>・幼児クラス保育体験会(11日)</li> <li>・入園説明会(12日)</li> <li>・幼児クラス保育体験会(19日)</li> <li>・年長児社会見学3(22日)</li> <li>・アドヴェント礼拝・ツリー点灯式(28日)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園説明会(9日)</li> <li>・こひつじクリスマス(10日)</li> <li>・クリスマスメッセージ(17日)</li> <li>・さみどりクリスマス(17日)</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園で遊ぼう会(14日)</li> <li>・入園説明会(14日)</li> <li>・小学生同窓会(21日)</li> <li>・就学相談会(27日)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児講座(4日)</li> <li>・年長児社会見学4(24日)</li> <li>・新年度入所見発表・面接(25日)</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児クラス保護者懇談会(9日)</li> <li>・乳児クラス保護者懇談会(9日)</li> <li>・お別れ会(14日)</li> <li>・卒園式(17日)</li> <li>・お別れ遠足(21日)</li> <li>・保育終了(31日)</li> </ul>

## (2) 認可・認定・届出

### A. 西南学院大学の収容定員増加に係る学則変更認可

申請年月日 : 2011(平成23)年3月29日

認可年月日 : 2011(平成23)年6月24日

変更内容 : 大学全体の収容定員

入学定員 : 1,670名

(人間学部社会福祉学科 : 110名、人間科学部心理学科 : 100名)

3年次編入学定員 : 10名

(人間学部社会福祉学科 : 10名)

### B. 西南学院大学人間科学部心理学科設置届出

名称 : 西南学院大学人間科学部心理学科

申請年月日 : 2011(平成23)年4月28日

受理年月日 : 2011(平成23)年6月20日

入学定員 : 100名

収容定員 : 400名

修業年限 : 4年

開設時期 : 2012(平成24)年4月1日

### C. 学校法人西南学院寄附行為変更届出

申請年月日 : 2011(平成23)年12月19日

変更内容 : 大学人間科学部心理学科設置に伴う変更

## (3) 名誉顧問・名誉教授・名誉博士

2012(平成24)年3月現在

## 名誉顧問

氏名	授与年月	氏名	授与年月
伊藤隆夫	2003. 3	L. K. シー ト	2004. 4

## 名誉教授

氏名	授与年月	氏名	授与年月
ヴェラ L. キャンベルーガラット	1980. 4	原田三喜雄	2001. 4
ロバート H. カルペッパー	1980. 4	佐渡谷重信	2002. 4
ジョン W. シェパード	1983. 10	八木幹	2002. 4
中川ノブ	1987. 4	中村栄子	2002. 4
岩城富美子	1993. 4	八田正光	2002. 4
山崎剛	1993. 4	山口稻生	2002. 4
井上康男	1993. 4	川島信義	2002. 4
杉原実	1993. 4	太田和男	2003. 4
唐木田芳文	1994. 4	山崎勇視	2004. 4
堤克彦	1994. 10	西嶋幸右	2004. 4
中尾英俊	1995. 4	山中耕作	2004. 4
大内和臣	1995. 4	L. K. シー ト	2004. 10
尾崎恵子	1996. 4	ハーシェル C. ジョンソン	2004. 10
岡本幸雄	1996. 4	古川暢朗	2005. 4
後藤泰二	1996. 4	堺太郎	2005. 4
関谷定夫	1996. 4	片岡章	2006. 4
泉マズ子	1997. 4	小森俊介	2007. 4
真鍋誠	1997. 4	古川卓萬	2007. 4
ヒュー H. ヤング	1997. 4	斉藤末弘	2007. 4
中村清	1997. 4	村上隆太	2008. 4
安徳典光	1999. 4	戸星善宏	2008. 4
平野正	1999. 4	吾郷健二	2010. 4
河野信子	1999. 4	大濱順彦	2010. 4
屋宜和夫	1999. 4	井口正俊	2010. 4
古澤嘉生	2000. 4	堤啓次郎	2010. 4
田代義範	2000. 4	森泰男	2011. 4
上野武	2000. 4		

## 名誉博士

氏名	授与年月	氏名	授与年月
クリフォード J. クレーベン	1977. 3	J. ゴードン キングスレー	1989. 11
ジェイムズ E. ウッド	1983. 5	ハーバート H. レイノルズ	1990. 12

2011(平成23)年度中の異動

名誉教授 福本保信氏は2011年(平成23)年7月13日逝去

名誉教授 有田忠郎氏は2012年(平成24)年3月11日逝去

#### (4) 学位授与

2012(平成24)年3月31日現在

報告番号	博士の専攻分野の名称	授与年月日	論文審査終了年月日
甲第14号	博士(国際文化)	平成23年5月26日	平成23年4月23日
甲第15号	博士(国際文化)	平成23年5月26日	平成23年4月23日
甲第16号	博士(経営学)	平成24年3月21日	平成24年2月15日
甲第17号	博士(文学)	平成24年3月21日	平成24年1月7日
甲第18号	博士(国際文化)	平成24年3月21日	平成24年2月20日
甲第19号	博士(国際文化)	平成24年3月21日	平成24年2月16日

### 3. データ

#### (1) 学生・生徒・児童・園児数

2011(平成23)年5月1日現在

学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 等				収 容 定 員	入 学 者	総 数
大	神 学 部	神 学 科		40	3	39
	文 学 部	英 文 学 科		400	99	484
		外国語学科	英 語 専 攻	400	116	488
	フ ラ ン ス 語 専 攻		200	59	242	
	商 学 部	商 学 科		600	178	737
		経 営 学 科		600	198	791
	経 済 学 部	経 済 学 科		800	207	1,013
		国 際 経 済 学 科		400	105	493
	法 学 部	法 律 学 科		1,080	326	1,333
		国 際 関 係 法 学 科		320	102	426
人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科		400	125	466	
	社 会 福 祉 学 科		660	163	707	
国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科		600	146	723	
( 小 計 )				6,500	1,827	7,942
学	法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	博 士 前 期	20	1	2
			博 士 後 期	9	2	3
	経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	博 士 前 期	20	15	35
			博 士 後 期	9	1	2
	文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	博 士 前 期	20	4	7
			博 士 後 期	9	0	7
		フ ラ ン ス 文 学 専 攻	博 士 前 期	10	2	5
			博 士 後 期	9	0	2
	経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	博 士 前 期	14	4	7
			博 士 後 期	9	0	0
	神 学 研 究 科	神 学 専 攻	博 士 前 期	14	5	12
			博 士 後 期	6	1	1
	人 間 科 学 研 究 科	人 間 科 学 専 攻	博 士 前 期	20	8	11
			博 士 後 期	9	3	7
国 際 文 化 研 究 科	国 際 文 化 専 攻	博 士 前 期	20	12	24	
		博 士 後 期	9	3	15	
( 小 計 )				207	61	140
大 学 院 法 務 研 究 科 ( 法 科 大 学 院 )			専 門 職 学 位	120	19	79
専 攻 科	神 ・ 商 ・ 経 済			30	1	1
選 科 生	神 学 部			若 干 名	0	2
留 学 生 別 科				30	57	46
〔 大 学 計 〕				6,887	1,965	8,210
高 等 学 校				1,350	465	1,315
中 学 校				600	200	611
小 学 校				280	85	279
舞 鶴 幼 稚 園				160	69	175
早 緑 子 供 の 園				90	15	107
〔 合 計 〕				9,367	2,799	10,697

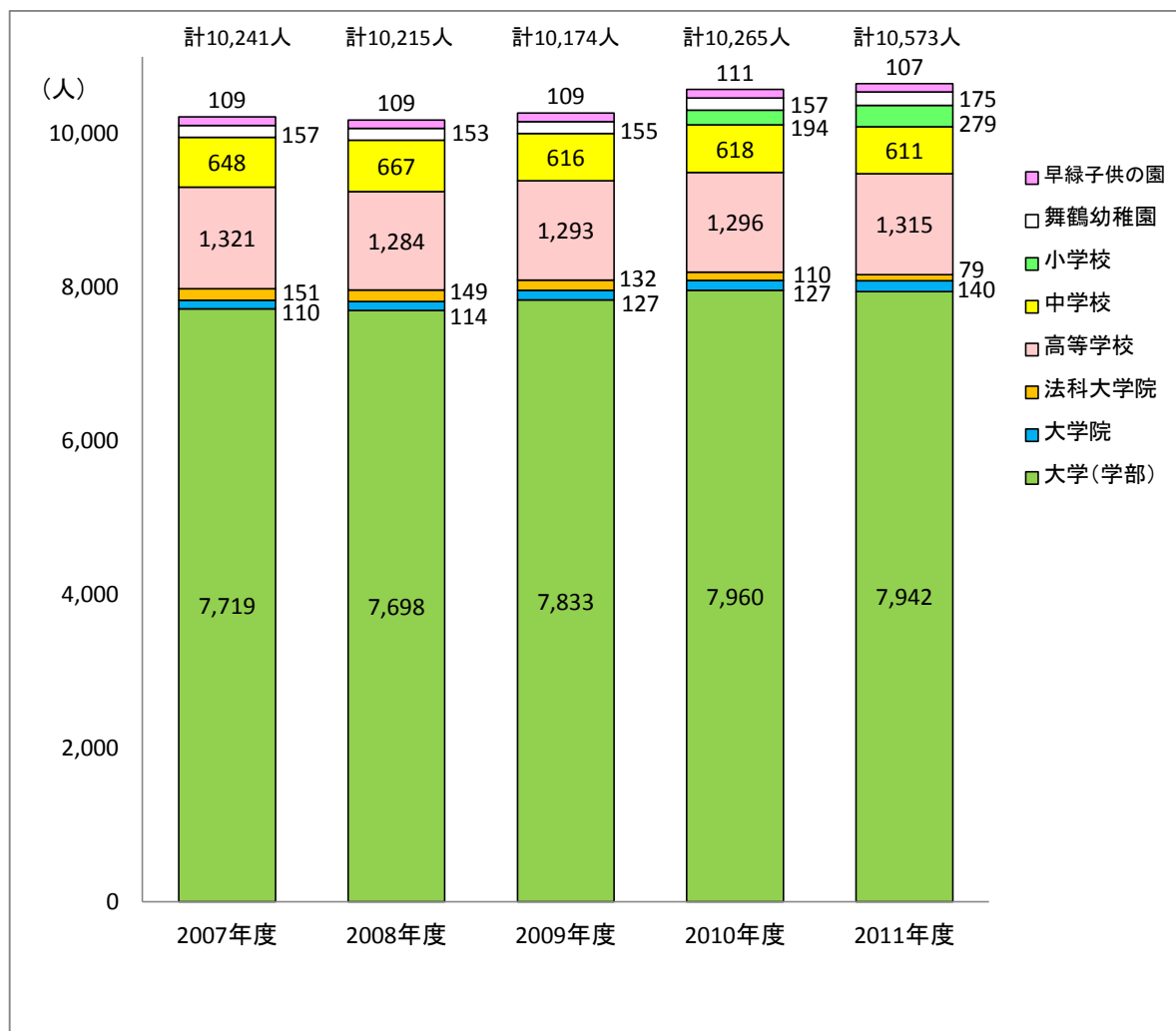
注：大学学部の入学者数は一年次入試のみ。

小学校の入学者数には、新3年生の転入学者を含む。



# 学生・生徒・児童・園児数の推移

各年度 5月1日現在



※大学専攻科、選科生、留学生別科の学生数は含まない。

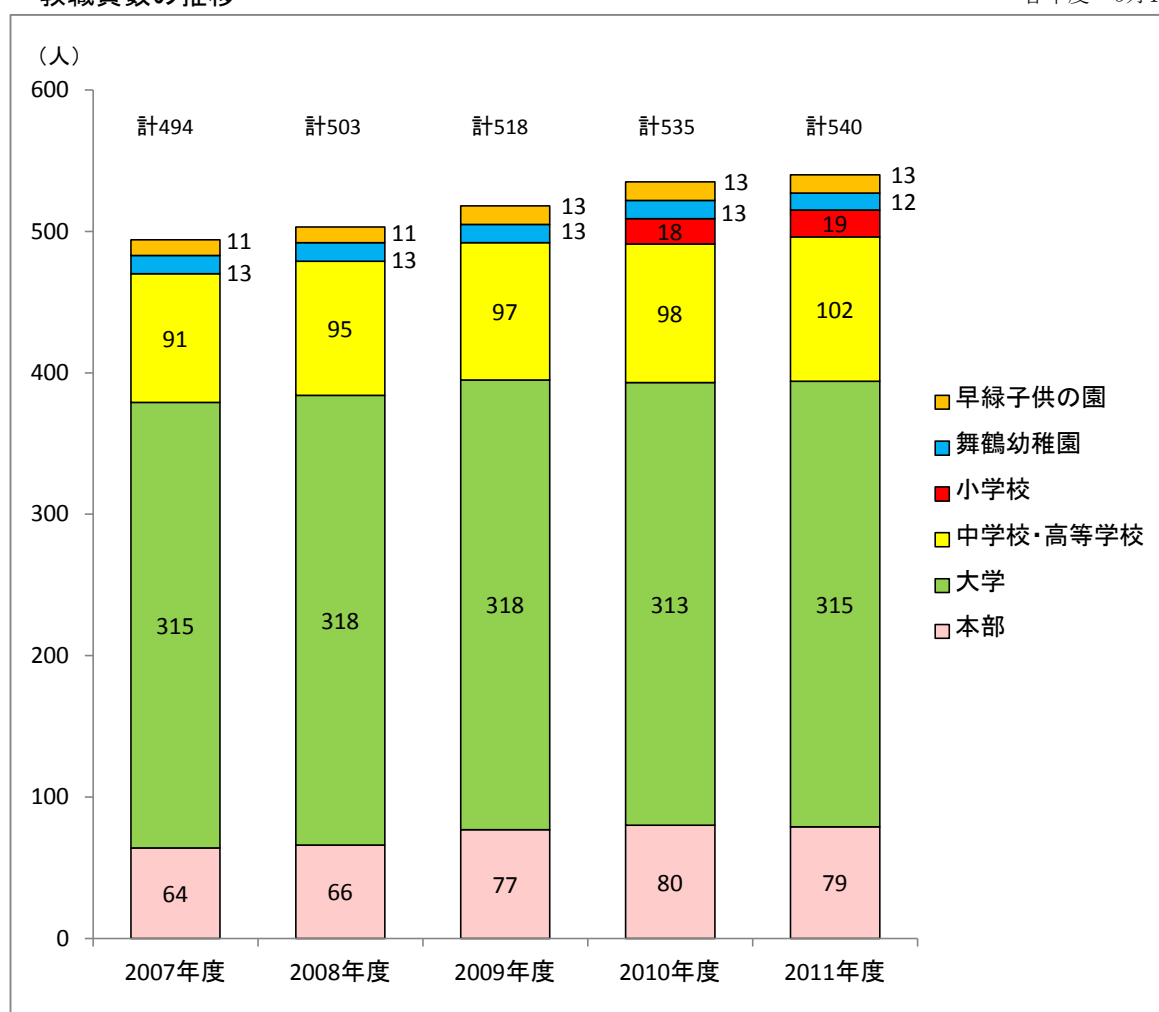
(2) 教職員数

2011(平成23)年5月1日現在

学 校 等	専任教員	特別教員	実務家教員 (法科大学院)	常勤講師 (外国語教員 含む)	特任教員 (保育士含む)	専任職員	嘱託職員	計
本 部	-	-	-	-	-	69	10	79
大 学	186	7	6	4	-	87	25	315
高等学校	45	-	-	5	-	12	12	102
中 学 校	22	-	-	6	-			
小 学 校	12	-	-	1	-	1	5	19
舞鶴幼稚園	9	-	-	-	2	-	1	12
早緑子供の園	8	-	-	-	2	-	3	13
合計	282	7	6	16	4	169	56	540

教職員数の推移

各年度 5月1日現在



(3) 入学試験日程

2012(平成24)年度入学試験日程

入 学 試 験 等		願 書 受 付 期 間	試 験 日	合 格 者 発 表 等	
大	推 薦	指 定 校	2011(平成23)年10月11日(火) ～10月21日(金)	11月 5日(土)	11月17日(木)
		独 自 指 定 校 (神・フランス専・商・法・児教・福祉・国文)			
		西南女学院高校	2011(平成23)年10月17日(月) ～10月28日(金)	11月 5日(土) 筆記 11月11日(金) 面接	
		西南学院高校		11月10日(木)	
		公 募 制 (英文・フランス専・商・経済・法)	2011(平成23)年 9月20日(火) ～ 9月30日(金)	10月22日(土)	
	A O選抜入試(英専)	2011(平成23)年10月17日(月) ～10月28日(金)	11月10日(木)	11月17日(木)	
	一 般	神 学 部 經 済 学 部 文 学 部 法 学 部 人 間 科 学 部 全 学 部 商 学 部 国 際 文 化 学 部	2012(平成24)年 1月 5日(木) ～ 1月17日(火)	2月 6日(月)	2月23日(木)
				2月 7日(火)	
				2月 8日(水)	
				2月 9日(木)	
2月10日(金)					
一般・センター併用型入試		2012(平成24)年 1月 5日(木) ～ 1月13日(金)	一般入試及びセンター 試験を受験		
大学入試センター試験利用入試 (前期)			1月14日(土) ～1月15日(日)	3月13日(火)	
大学入試センター試験利用入試 (後期)		2012(平成24)年 2月17日(金) ～ 3月 2日(金)	10月22日(土)		10月27日(木)
3年次転・編入等 帰国生		2011(平成23)年 9月26日(月) ～10月 7日(金)	11月11日(金)	11月17日(木)	
2年次転・編入 外国人		2011(平成23)年 9月20日(火) ～ 9月30日(金)	10月22日(土)	10月27日(木)	
大 学 院	博 士 前 期 (法学研究科 経営学研究科 文学研究科 経済学研究科 神学研究科 人間科学研究科 国際文化研究科)	秋 期	一般及び外国人等(国内居住者)・社会人 2011(平成23)年 7月14日(木) ～ 7月21日(木)	9月 3日(土)	9月 7日(水)
			春	一般及び外国人等(国内居住者) 2012(平成24)年 1月13日(金) ～ 1月23日(月)	2月25日(土)
		※飛び級 2012(平成24)年 2月 1日(水) ～ 2月10日(金)			
		社 会 人 2012(平成24)年 1月13日(金) ～ 1月23日(月)			
		季	外国人等(国外居住者) 2011(平成23)年10月 7日(金) ～11月11日(金)	2月24日(金)	2月24日(金)
	博 士 後 期 (法学研究科 経営学研究科 文学研究科 経済学研究科 神学研究科 人間科学研究科 国際文化研究科)		一般及び外国人等(国内居住者) 2012(平成24)年 1月13日(金) ～ 1月23日(月)		
	春	外国人等(国外居住者) 2011(平成23)年10月 7日(金) ～11月11日(金)	2月24日(金)	2月24日(金)	
					2012(平成24)年 1月13日(金) ～ 1月23日(月)

入 学 試 験 等		願 書 受 付 期 間	試 験 日	合 格 者 発 表 等	
大 学 院	大 学	専門職学位 法務研究科(法科大学院)	法学未修者及び法学既修者 (9月入試) 2011(平成23)年 8月17日(水) ～ 8月31日(水)	法学未修者 9月17日(土) 小論文 法学既修者 9月17日(土) 憲法、刑法 9月18日(日) 民法、商法	10月 5日(水)
			法学未修者(10月入試) 2011(平成23)年10月11日(火) ～10月21日(金)		11月 8日(火)
			法学既修者(2月入試) 2012(平成24)年 1月13日(金) ～ 1月27日(金)	2月11日(土) 憲法、刑法 2月12日(日) 民法、商法	2月27日(月)
高 等 学 校	専 願 入 試	2012(平成24)年1月18日(水) ～1月20日(金)	1月24日(火)	1月26日(木)	
	前 期 入 試	2012(平成24)年1月26日(木) ～2月1日(水)	2月 3日(金)	2月 7日(火)	
	後 期 入 試	2012(平成24)年2月7日(火) ～2月10日(金)	2月11日(土)	2月14日(火)	
中 学 校		2011(平成23)年12月12日(月) ～2012(平成24)年 1月6日(金)	1月18日(水)	1月20日(金)	
小 学 校	1 年 生	2011(平成23)年 9月12日(月) ～10月 7日(金)	10月26日(水) ～11月11日(金) 面接 11月18日(金) 個別適性検査① 11月19日(土) 個別適性検査②及び 集団適性検査	11月28日(月)	
	2・3年生転入学	2012(平成24)年 3月1日(木) ～ 3月16日(金)	3月24日(土)	3月24日(土)	
幼 稚 園		2011(平成23)年11月 1日(火)	11月1日(火)、2日(水) 面接	11月4日(金)	

(4) 入学志願者数及び合格・許可者数  
2012(平成24)年度入学志願者数・合格者数

学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 等				入学定員	入学志願者数	合格者・許可者数		
大 学	神 学 部	神 学 科		10	62		36	
	文 学 部	英 文 学 科		100	1,106		434	
		外 国 語 学 科	英 語 専 攻	100	1,284		333	
			フ ラ ン ス 語 専 攻	50	462		197	
	商 学 部	商 学 科		150	2,391		658	
		経 営 学 科		150	2,225		550	
	経 済 学 部	経 済 学 科		200	2,509		943	
		国 際 経 済 学 科		100	1,355		482	
	法 学 部	法 律 学 科		270	2,009		939	
		国 際 関 係 法 学 科		80	571		234	
	人 間 科 学 部	児 童 教 育 学 科		100	1,649		468	
		社 会 福 祉 学 科		110	1,760		495	
		心 理 学 科		100	1,033		328	
	国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科		150	2,176		626	
	学 部 計				1,670	20,592		6,723
	大 学 院	法 学 研 究 科	博 士 前 期	10	秋 期	3	1	2
				3	春 期	3	1	0
		経 営 学 研 究 科	博 士 前 期	10	秋 期	10	6	11
				3	春 期	19	5	1
		文 学 研 究 科	英 文 学 専 攻	10	秋 期	8	5	8
				3	春 期	5	3	0
フ ラ ン ス 文 学 専 攻			5	秋 期	0	0	1	
			3	春 期	1	1	1	
経 済 学 研 究 科		博 士 前 期	7	秋 期	3	1	2	
			3	春 期	1	1	0	
神 学 研 究 科		博 士 前 期	7	秋 期	4	4	7	
			2	春 期	3	3	0	
人 間 科 学 研 究 科		博 士 前 期	10	秋 期	4	2	10	
			3	春 期	11	8	2	
国 際 文 化 研 究 科		博 士 前 期	10	秋 期	6	6	12	
			3	春 期	8	6	3	
大 学 院 計				92	97		60	
大 学 院 法 務 研 究 科 (法 科 大 学 院)			専 門 職 学 位	35	94		37	
専 攻 科	神 ・ 商 ・ 経 済		30	1		1		
選 科 生	神 学 部		若 干 名	0		0		
大 学 計				1,827	20,784		6,821	
高 等 学 校				450	955		813	
中 学 校				200	1,093		590	
小 学 校				70	148		86	
舞 鶴 幼 稚 園				160	49		45	
早 緑 子 供 の 園				90	62		16	
合 計				2,797	23,091		8,371	

注1. 大学学部の入学志願者数及び合格者数は1年次入試のみ。

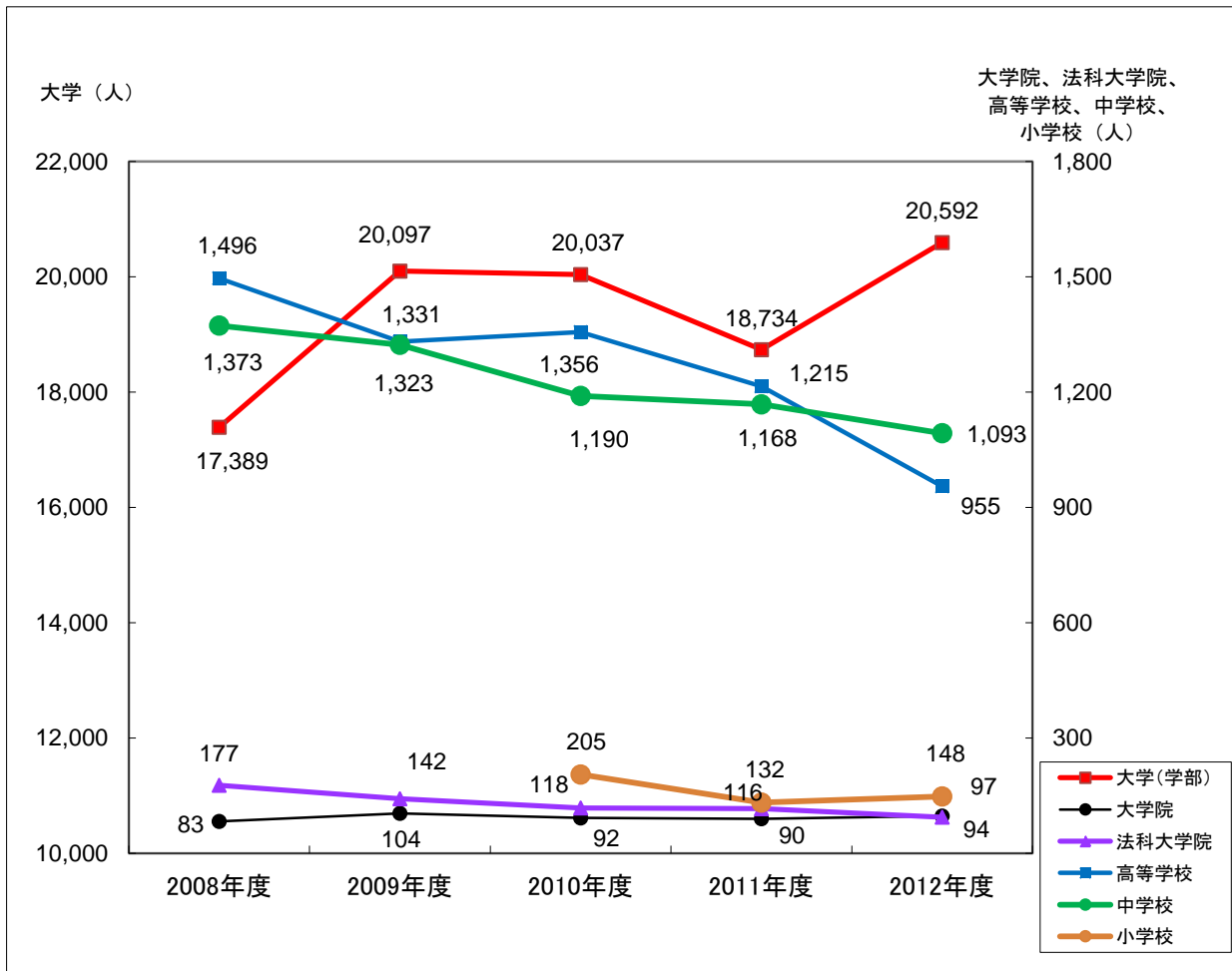
注2. 大学学部については、指定校推薦(志願者195名、合格者195名)、西南高推薦(志願者48名、合格者48名)、各種推薦等入試(志願者335名、合格者335名)、帰国生入試(志願者8名、合格者8名)、外国人入試(志願者15名、合格者9名)を含む。

注3. 留学生別科は除く。

注4. 小学校の入学志願者数及び合格者数は1年生のみ。

注5. 舞鶴幼稚園及び早緑子供園の入学定員は収容定員を示す。

## 入学志願者数の推移



注1. 大学学部の入学志願者数は、1年次入試のみ。

注2. 大学学部については、各種推薦等入試、帰国子女入試、外国人入試の志願者数を含む。

注3. 留学生別科は除く。

注4. 小学校の入学志願者数は、1年生のみ。

(5) 卒業生数

2011(平成23)年度卒業生数

2012(平成24)年3月31日現在

2011(平成23)年度卒業生等				累 計	廃止学校・学部・学科等卒業生累計			
学校・学部・学科等		人 員						
大 学 部	神学部	神学科	10	394	文商学部	神学専攻	20	
	文学部	英文学科	117	6,487		英文学専攻	88	
		外国語学科	英語専攻	109		5,046	商学専攻	473
			フランス語専攻	61	2,360	文学部	神学科	113
	商学部	商学科	167	13,197	英文学科		夜間	78
		経営学科	178	8,705	商学部	商学科	夜間	674
	経済学部	経済学科	250	13,701		経済学科		218
		国際経済学科	108	2,283	文学専攻科	神学専攻	53	
	法学部	法律学科	325	14,242		英文学専攻	94	
		国際関係法学科	93	1,467		英語専攻	14	
	人間科学部	児童教育学科	110	4,316		フランス語専攻	11	
		社会福祉学科	165	1,411	国際文化専攻	21		
	国際文化学部	国際文化学科	156	4,687	商学専攻科	経済学専攻	2	
(学部計)		1,849	78,296	経営学専攻		7		
大 学 院	博士前期 修 士	法学研究科	0	223	短期大学部	英語科第二部	324	
		経営学研究科	19	232		商学科第二部	1,576	
		文学研究科	英文学専攻	3		148	児童教育科	1,598
			フランス文学専攻	0		55	児童専攻科	0
		経済学研究科	2	83		高等学校	定時制	830
		神学研究科	4	25	早緑幼稚園		412	
		人間科学研究科	2	28	西南聖書学院		41	
		国際文化研究科	7	139	(廃止学校等計)		6,647	
	(博士前期・修士計)		37	933				
	博士後期	法学研究科	0	39	旧制学校卒業生累計			
		経営学研究科	0	54				
		文学研究科	英文学専攻	3	30	中学部	本科	2,283
			フランス文学専攻	1	17	商業学校	本科	456
経済学研究科		0	0	工業学校	別科	4		
神学研究科		0	1	高等学部	英文科	566		
人間科学研究科	1	4	研究科		11			
国際文化研究科	1	28	補習科		22			
(博士後期計)		6	173		経済専門学校	経済科	2,223	
(大学院計)		43	1,106			専門学校一部		商科
法務研究科(法科大学院)		17	215	専門学校二部	神学科本科	30		
専攻科	神学専攻科	神学専攻	1		266	神学科選科	12	
	商学専攻科	商学専攻	0		116	英文科	55	
	経済学専攻科	経済学専攻	0	108	経済科	142		
	(専攻科計)		1	490	実務科	159		
選科生	神学部	0	90	専門学校	別科	271		
留学生別科(終了者)		57	749		児童教育科		4	
《大学計》		1,967	80,946	(旧制学校等計)		6,238		
高等学校	全日制	417	23,946	合 計				
中学校		193	12,254	12,885				
舞鶴幼稚園		59	5,100					
早緑子供の園		17	826					
合 計		2,653	123,072	合 計				
総 合 計				135,957				

注1. 大学院博士後期課程は、単位修得満期退学者数を示す。

注2. 留学生別科は、2010-2011年度(通年・後期)及び2011-2012年度(前期)の留学生別科終了者数を示す。

## (6) 大学卒業生就職状況

2012(平成24)年3月31日現在

## A. 就職状況

区 分		神学部	文学部	商学部	経済学部	法学部	人間科学部	国際文化学部	合 計	
卒業生総数		10	282	333	344	401	268	154	1,792	
卒業後の進路	就職者数	自家営業		1	3	2	2		8	
		自家営業以外	3	189	253	241	255	187	112	1,240
	進学者数	(大学院)	6	8	1	3	9	2	6	35
		(大学院以外)		1	1		1	2		5
上記以外		1	84	77	97	134	75	36	504	
就職希望者数		3	217	275	272	296	204	127	1,394	

注1) 就職者数は、正式に「進路報告書」を提出した者および就職課で把握している内定者の合計人数

注2) 進学者数(大学院)は、大学院、法科大学院に進学した者の人数

注3) 進学者数(大学院以外)は、大学学部・学科、専攻科・別科に進学した者の人数

注4) 上記以外は、進学準備者、受験準備者、専修学校等入学者、アルバイト・パート、就職未決定者、進路未報告者等の合計人数

## B. 業種別就職状況

区 分	神学部	文学部	商学部	経済学部	法学部	人間科学部	国際文化学部	合 計
農業、林業			1					1
漁業								
鉱業、採石業、砂利採取業								
建設業		4	10	7	5	2	1	29
製造業		16	27	20	19	6	9	97
電気・ガス・熱供給・水道業			4					4
情報通信業		12	18	14	9	5	11	69
運輸業、郵便業		17	9	5	7	2	3	43
卸売業、小売業	2	39	49	49	52	25	22	238
金融業、保険業		29	62	65	61	19	20	256
不動産業、物品賃貸業		6	7	5	8	1	4	31
学術研究、専門・技術サービス業		6	11	7	15	5	5	49
宿泊業、飲食サービス業		6	3	4	2	2	3	20
生活関連サービス業、娯楽業		9	5	7	3	3	2	29
教育、学習支援業		12	6	9	12	52	7	98
医療、福祉	1	4	6	6	10	41	2	70
複合サービス事業		7	10	7	8	9	4	45
サービス業(他に分類されないもの)		9	11	11	4	5	10	50
公務(他に分類されるものを除く)		7	10	16	34	6	7	80
上記以外のもの			1	3	2	2		8
合 計	3	183	250	235	251	185	110	1,217

注1) 業種別就職状況は、正式に「進路報告書」を就職課に提出した者および自家営業の合計人数とし、就職課で把握している内定者は除く。



### Ⅲ. 財務の概要

2011(平成23)年度の予算の執行状況について、その資金収支計算、消費収支計算、貸借対照表、財務比率などの推移、財務比率比較表等は以下のとおりである。

#### 1. 資金収支計算

##### 資金収支総括表

(収入の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異	執行率
学生生徒納付金収入	8,928	8,906	22	100%
手数料収入	525	523	2	100%
寄付金収入	72	79	△ 7	110%
補助金収入	1,227	1,122	105	91%
資産運用収入	248	261	△ 13	105%
資産売却収入	5,000	3,500	1,500	70%
事業収入	259	243	16	94%
雑収入	369	390	△ 21	106%
前受金収入	1,749	1,814	△ 65	104%
その他の収入	3,801	4,548	△ 747	120%
資金収入調整勘定	△ 2,081	△ 2,096	15	101%
当年度資金収入合計	20,097	19,290	807	96%
前年度繰越支払資金	4,071	4,071		
収入の部合計	24,166	23,361	805	

大学の経常費補助金が減少した。

有価証券の運用期間を変更した。

私学退職金団体からの交付金収入が増加した。

預り金の受入が増加した。

資金の受入が次年度になるもの、又前年度に資金の受入が済んでいるものを控除している。

(支出の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異	執行率
人件費支出	7,251	7,182	69	99%
教育研究経費支出	2,516	2,202	314	88%
管理経費支出	771	674	97	87%
施設関係支出	1,197	705	492	59%
設備関係支出	817	939	△ 122	115%
資産運用支出	6,613	5,716	897	86%
その他の支出	2,778	3,057	△ 279	110%
予備費	88	88		0%
資金支出調整勘定	△ 410	△ 415	5	101%
当年度資金支出合計	21,621	20,060	1,561	93%
次年度繰越支払資金	2,545	3,303	△ 758	
支出の部合計	24,166	23,362	804	

物品等の調達や業務委託内容の見直し等の経費節減が定着してきた。

言語教育センター棟の工事費が低く抑えられた。

有価証券の運用期間を変更した。

預り金の支出が増加した。

資金の支払が次年度になるもの又、前年度に資金の支払が済んでいるものを控除している。

当年度資金収支差額	△ 1,524	△ 770	△ 754
-----------	---------	-------	-------

##### 経常的収支計算

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異	執行率
経常的収入(網掛け科目)	11,628	11,524	104	99%
経常的支出(網掛け科目)	10,538	10,058	480	95%
経常的収支差額	1,090	1,466	△ 376	

前年度繰越支払資金より7億6,800万円下回っている。現金預金有高がその分減少した。

※表中の金額は、いずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

## 2. 消費収支計算

資金収支計算書と異なる部分については、吹き出しによる説明を行っている。

### 消費収支総括表

(消費収入の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒納付金	8,928	8,906	22
手数料	525	523	2
寄付金	72	89	△ 17
補助金	1,227	1,122	105
資産運用収入	248	261	△ 13
資産売却差額	2	2	0
事業収入	259	243	16
雑収入	369	402	△ 33
帰属収入合計	11,629	11,548	81
基本金組入額合計	△ 1,570	△ 1,527	△ 43
消費収入の部合計	10,058	10,021	37

寄贈図書・寄贈備品を受け入れた。

(消費支出の部)

(単位:百万円)

科目	予算	決算	差異
人件費	7,209	7,158	51
教育研究経費	3,607	3,181	426
(内、減価償却費)	1,091	978	113
管理経費	918	817	101
(内、減価償却費)	146	143	3
資産処分差額	0	213	△ 213
徴収不能引当金繰入	0	6	△ 6
予備費	98	98	0
消費支出の部合計	11,832	11,376	456

資産の除却に伴い減少した。

教育研究機器備品の除却と有価証券の評価差額による。

貸与奨学金の未償還分に引き当てた。

消費収入決算額が100億円に対し、消費支出決算額は113億円で、単年度では13億円の支出超過となる。

帰属収支差額	△ 203	172
帰属収支差額比率	△ 0	0
当年度消費収入超過額		
当年度消費支出超過額	1,774	1,355
前年度繰越消費収入超過額	1,937	1,937
基本金取崩額	12	12
翌年度繰越消費収入超過額	175	594

当年度支出超過に前年度収入超過と基本金取崩額を加えて5.9億円となる。予算額より4億700万円好転した。

#### ※帰属収入(115.4億円)の構成比率

学納金(大学)	64.9%
学納金(中高)	9.9%
学納金(小学校)	1.7%
学納金(幼稚園)	0.6%
手数料	4.5%
寄付金	0.8%
補助金	9.7%
資産運用収入	2.3%
資産売却差額	0.0%
事業収入	2.1%
雑収入	3.5%

#### ※消費支出(113.8億円)の構成比率

教員人件費	39.8%
職員人件費	19.0%
役員報酬	0.3%
退職給与引当金繰入額	3.9%
教育研究経費	28.0%
(内減価償却費)	8.6%
管理経費	7.2%
(内減価償却費)	1.3%
資産処分差額	1.9%
徴収不能引当金繰入	0.1%

※表中の金額は、いずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

### 3. 貸借対照表

#### 貸借対照表

資産の部 (単位:百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	59,171	58,776	395
有形固定資産	40,424	39,946	478
その他の固定資産	18,747	18,830	△ 83
流動資産	5,364	5,196	168
合 計	64,535	63,972	563

言語教育センター棟完成に伴い増加した。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科 目	本年度末	前年度末	増減
負債			
固定負債	3,276	3,088	188
流動負債	2,769	2,566	203
合 計	6,045	5,654	391
基本金	57,895	56,381	1,514
消費収支差額	594	1,937	△ 1,343
合 計	64,535	63,972	563

長期リース資産未払金を計上した。

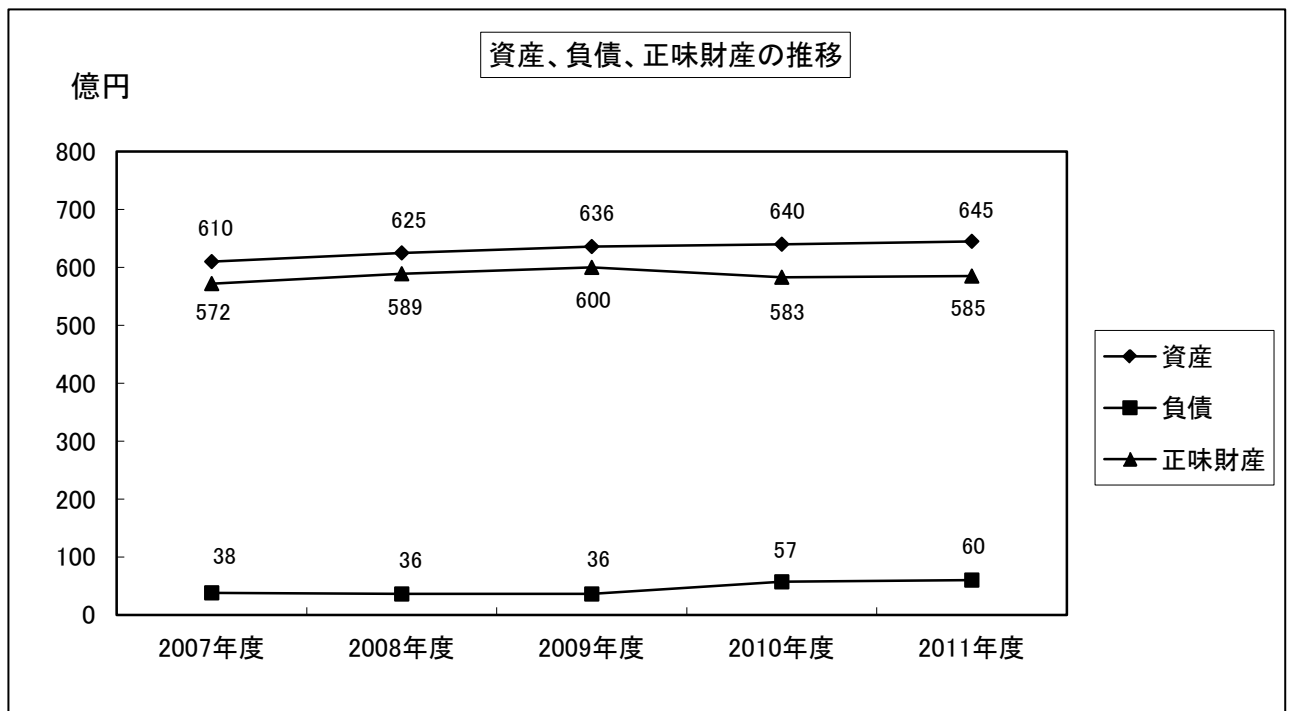
(参考)

正 味 資 産	58,489	58,318	171
---------	--------	--------	-----

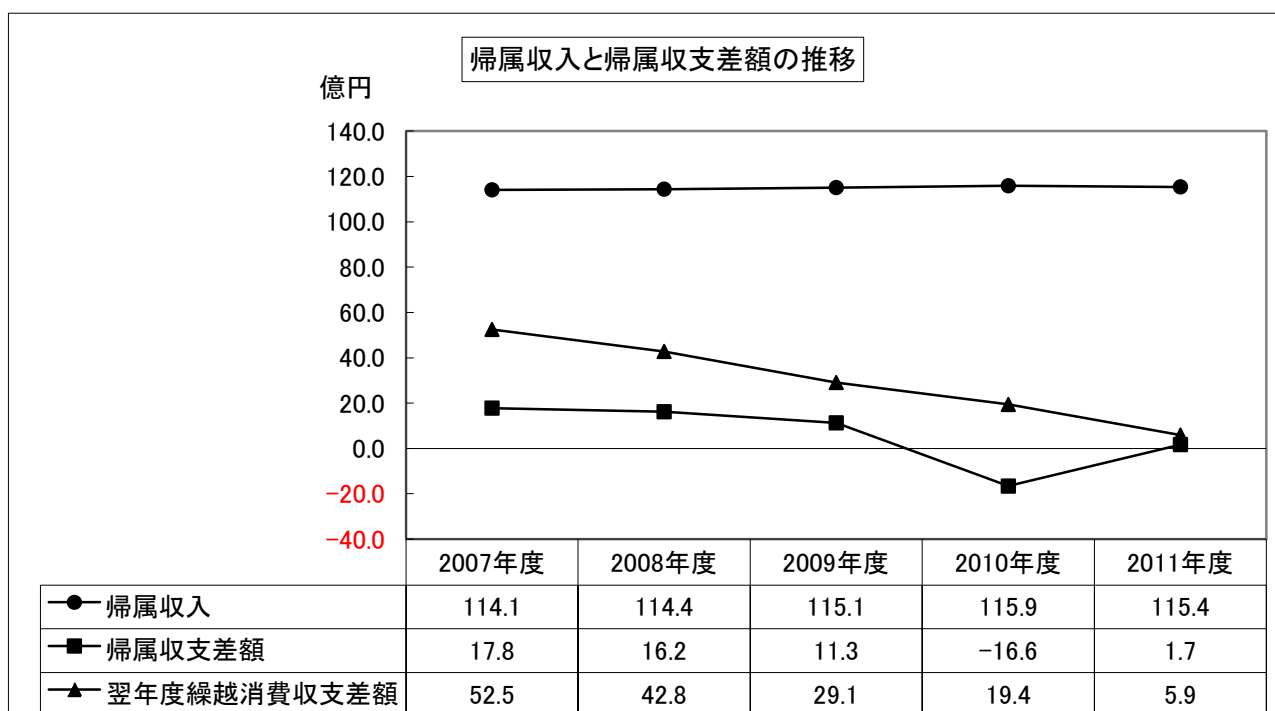
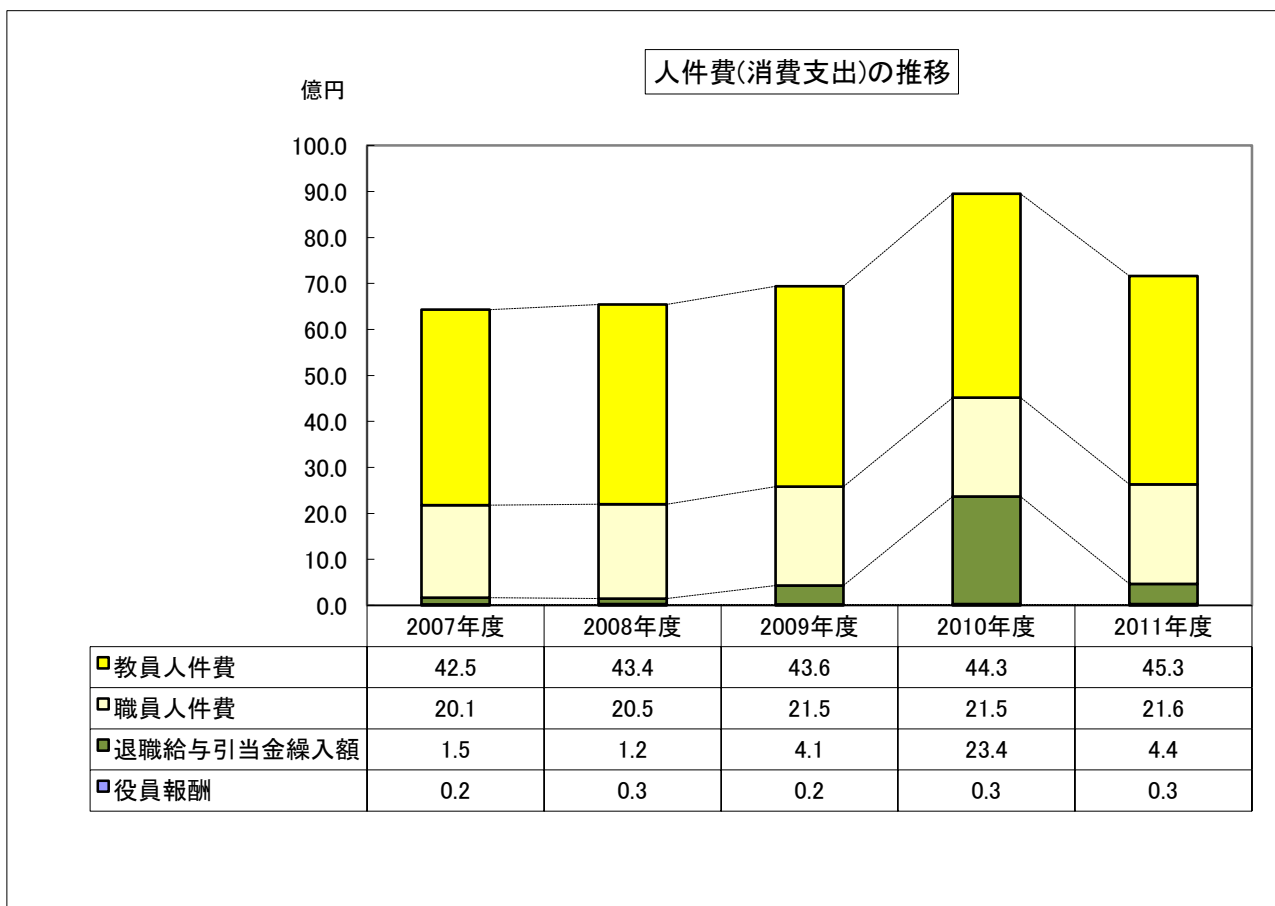
※正味資産=資産-負債 (=基本金+消費収支差額)

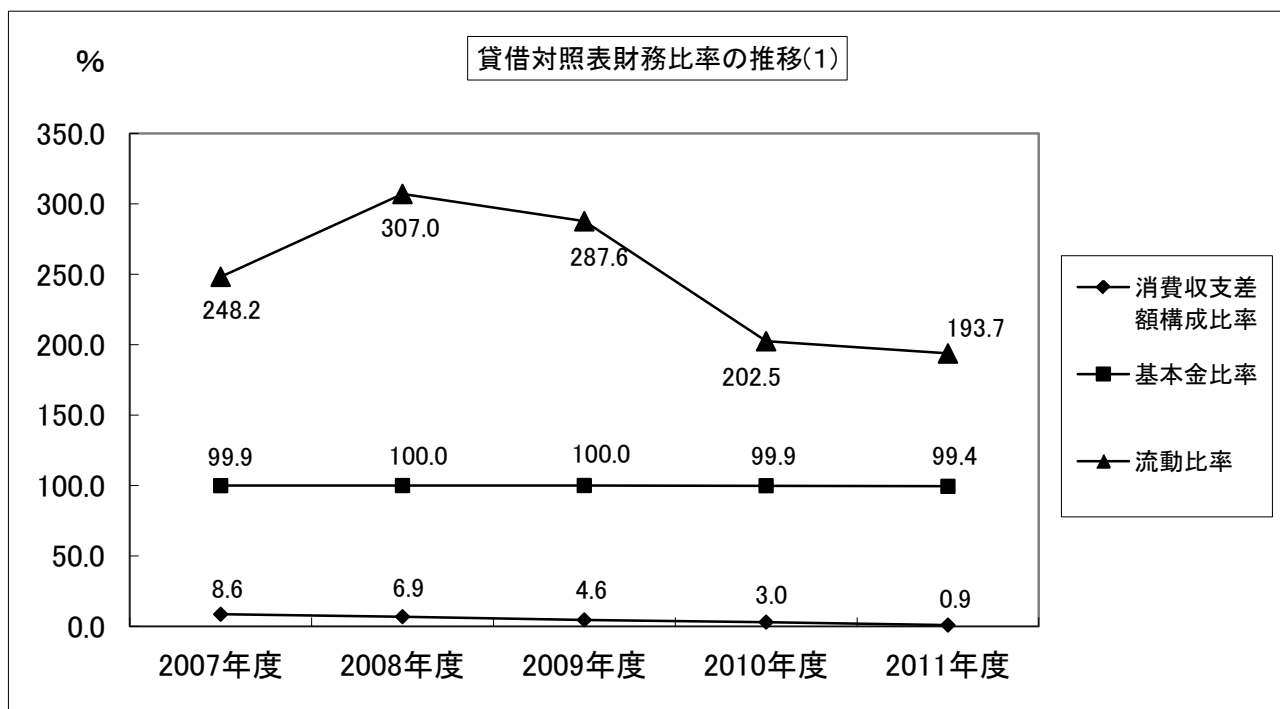
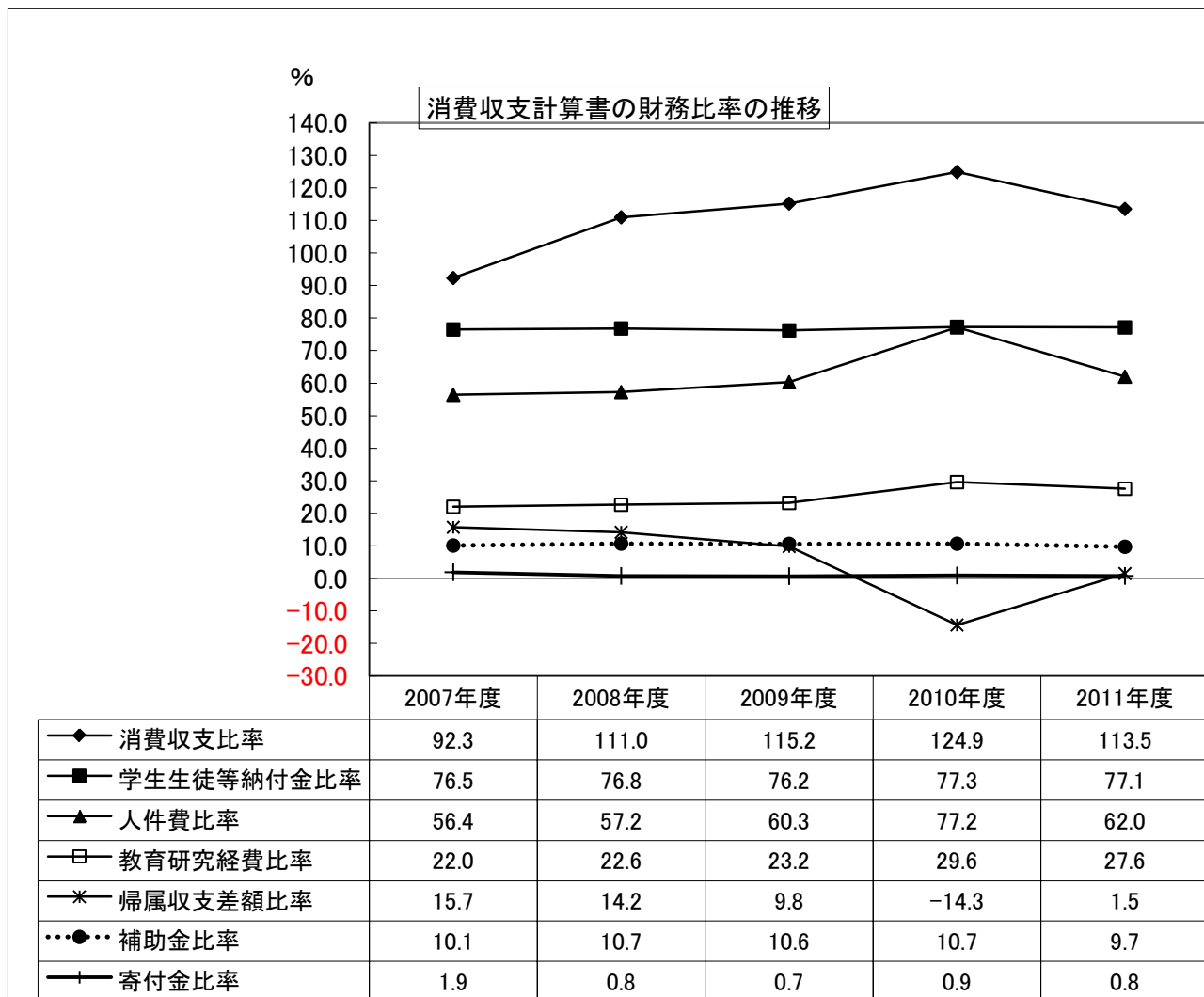
減価償却額の累計額	11,296	10,262	1,034
基本金未組入額	336	77	259

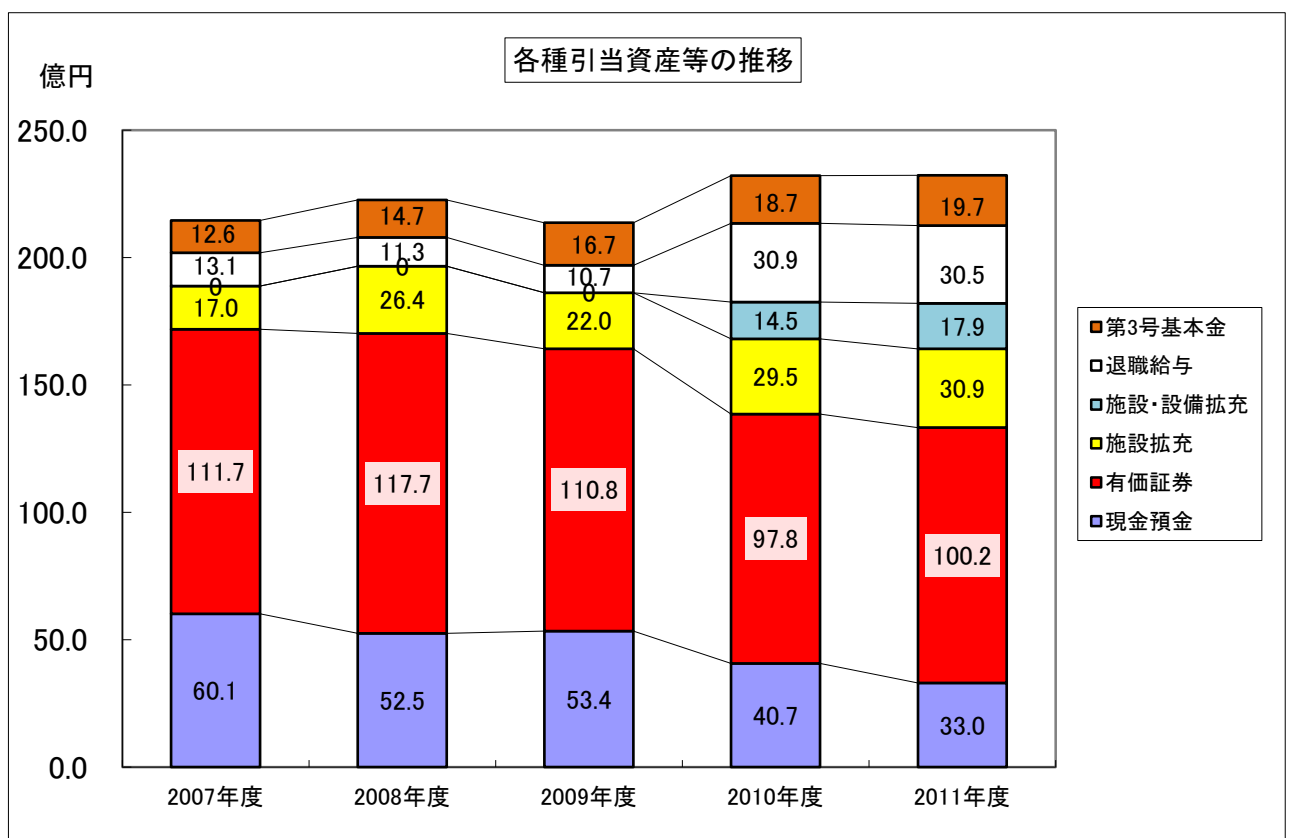
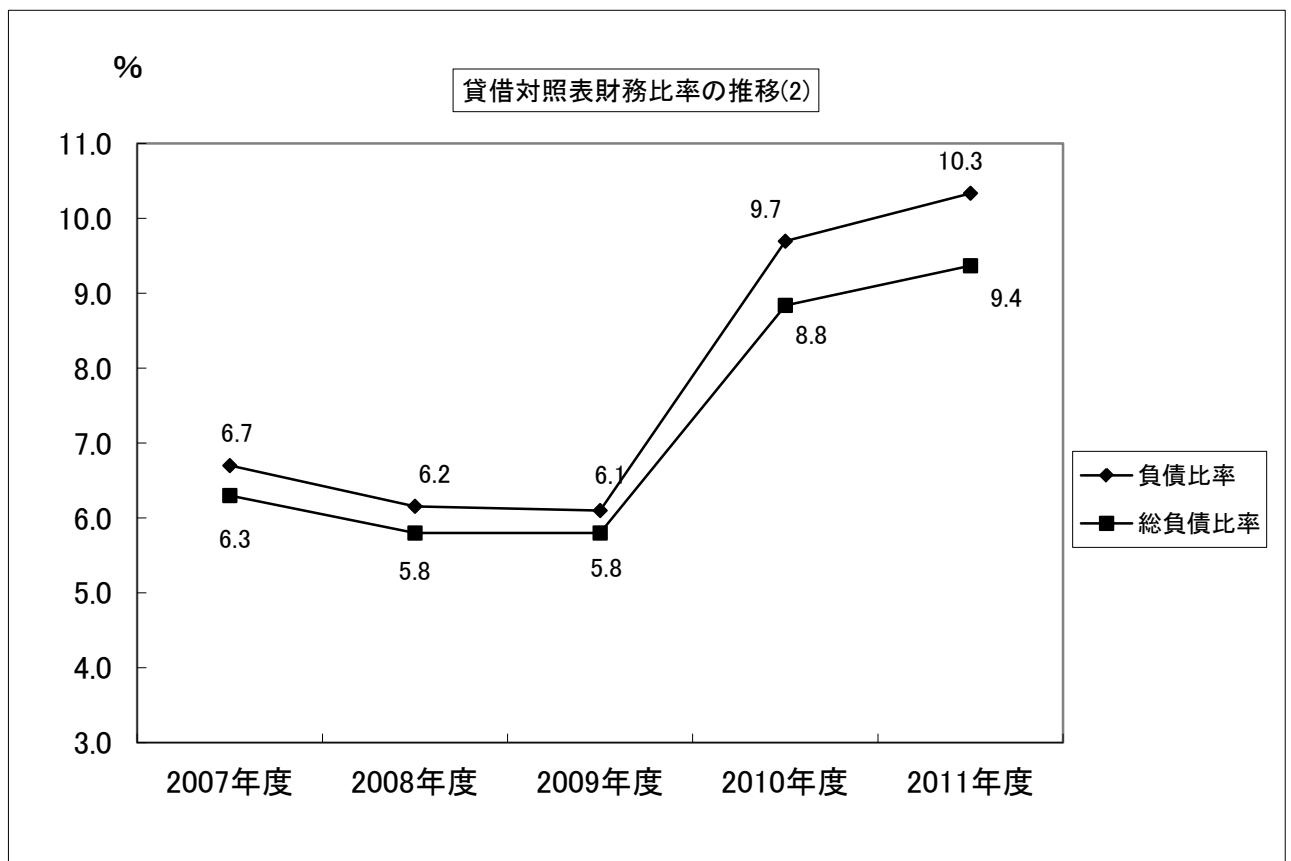
※表中の金額は、いずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。



#### 4. 財務比率などの推移







5. 財務比率比較表

(単位:%)

区 分				西南学院		全国平均	同系統	評価
				2011年度	2010年度	2010年度	2010年度	
貸借対照表関係比率	自己資金は充実されているか	自己資金比率	自己資金 総資金	90.6	91.2	87.2	87.9	△
		消費収支差額比率	消費収支差額 総資金	0.9	3.0	△ 9.3	△ 10.5	△
		基本金比率	基本金 基本金要組入額	99.4	99.9	97.0	97.4	△
	長期資金で固定資産は賅われているか	固定比率	固定資産 自己資金	101.2	100.8	99.8	98.9	▼
		固定長期適合率	固定資産 自己資金+固定負債	95.8	95.7	92.1	91.7	▼
	資産構成はどうか	固定資産比率	固定資産 総資産	91.7	91.9	87.0	86.8	▼
		有形固定資産比率	有形固定資産 総資産	62.6	62.4	61.6	62.1	▼
		その他の固定資産比率	その他の固定資産 総資産	29.0	29.4	25.4	24.8	△
		流動資産比率	流動資産 総資産	8.3	8.1	13.0	13.2	△
		減価償却比率	減価償却累計額(図書除く) 減価償却資産取得額(同)	35.1	33.3	45.0	46.0	～
	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保率	運用資産-総負債 総資産	28.0	28.7	25.6	25.8	△
		運用余裕比率	運用資産-外部負債 消費支出	2.0	1.8	1.8	1.8	△
		流動比率	流動資産 流動負債	193.7	202.5	236.6	253.9	△
		前受金保有率	現金預金 前受金	182.0	232.8	305.8	313.8	△
		退職給与引当預金率	退職給与引当資産 退職給与引当金	100.0	100.0	69.4	65.3	△
	負債の割合はどうか	固定負債比率	固定負債 総資金	5.1	4.8	7.4	6.9	▼
		流動負債比率	流動負債 総資金	4.3	4.0	5.5	5.2	▼
		総負債比率	総負債 総資産	9.4	8.8	12.8	12.1	▼
		負債比率	総負債 自己資金	10.3	9.7	14.7	13.8	▼
	消費収支計算書関係比率	経営状況はどうか	帰属収支差額	帰属収入-消費支出 帰属収入	1.5	△ 14.3	4.4	2.1
収入構成はどうか		学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 帰属収入	77.1	77.3	73.4	74.2	～
		寄付金比率	寄付金 帰属収入	0.8	0.9	2.6	1.8	△
		補助金比率	補助金 帰属収入	9.7	10.7	12.4	13.8	△
支出構成は適切であるか		人件費比率	人件費 帰属収入	62.0	77.2	52.9	57.0	▼
		教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入	27.6	29.6	30.9	28.8	△
		管理経費比率	管理経費 帰属収入	7.1	6.4	8.8	9.5	▼
		借入金等利息比率	借入金等利息 帰属収入	0.0	0.0	0.4	0.3	▼
		基本金組入率	基本金組入額 帰属収入	13.2	8.4	13.4	11.4	△
収入と支出のバランスはとれているか		減価償却費比率	減価償却費 消費支出	9.9	11.6	11.5	10.9	～
	人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	80.4	99.8	72.0	76.8	▼	
	消費収支比率	消費支出 消費収入	113.5	124.9	110.5	110.5	▼	

・(資料)平成23年度版 今日私学財政(日本私立学校振興・共済事業団)

・上表区分中、「全国」は医歯法人を除く、「同系統」は「文他複数学部;155法人」である。

・(評価)△ 高い値が良い ▼ 低い値が良い ～ どちらともいえない

## 6. 学生生徒等納付金一覧表

2011(平成23)年度 学生生徒等納付金年額一覧表

単位:円

項目	大学院	大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園
入学金 (入学申込金)	135,000 <135,000>	270,000	40,000	100,000	100,000	80,000
施設拡充費			250,000	200,000	200,000	30,000
計 (入学時)	135,000 <135,000>	270,000	290,000	300,000	300,000	110,000
授業料	576,000 <1,100,000>	720,000	360,000 (30,000)	360,000 (30,000)	540,000 (45,000)	294,000 (24,500)
施設費	130,000 <130,000>	130,000	90,000 (7,500)	90,000 (7,500)		30,000 (2,500)
教育充実費					60,000 (5,000)	
保育充実費						54,000 (4,500)
空調費			12,000 (1,000)	12,000 (1,000)		
計(毎年)	706,000 <1,230,000>	850,000	462,000 (38,500)	462,000 (38,500)	600,000 (50,000)	378,000 (31,500)
合計	841,000 <1,365,000>	1,120,000	752,000	762,000	900,000	488,000

注1. < >内の数字は法科大学院の納付金を示す。

2. ( )内の数字は毎月の納付金を示す。

3. 卒業延期生の授業料は、1単位当たりの授業料(学部:@23,000円、大学院:@40,000円、法科大学院:@30,000円)×不足単位数で算定する。

4. 休学時は、在籍基本料を年間120,000円(半期60,000円)徴収する。(授業料、施設費は徴収しない)

5. 本学からの大学院入学生(法科大学院生も含む)については、入学金を徴収しない。

6. 中・高一貫教育に伴い、本学院中学校から高等学校へ入学する者については、施設拡充費200,000円を徴収し、入学金は徴収しない。



学校法人西南学院 所在地

学院本部、西南学院大学（大学院・法務研究科を含む）

〒814-8511

福岡市早良区西新六丁目2番92号 電話 092-823-3201

学校法人 <http://www.seinan-gakuin.jp/>

大 学 <http://www.seinan-gu.ac.jp/>

西南学院中学校・高等学校

〒814-8512

福岡市早良区百道浜一丁目1番1号 電話 092-841-1317

<http://www.seinan.ed.jp/hs/>

西南学院小学校

〒814-8513

福岡市早良区百道浜一丁目1番2号 電話 092-841-1600

<http://www.seinan.ed.jp/es/>

舞鶴幼稚園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番1号 電話 092-751-6650

<http://www.seinan-gu.ac.jp/youchien/>

早緑子供の園

〒810-0053

福岡市中央区鳥飼一丁目6番5号 電話 092-761-3408

<http://www.seinan-gu.ac.jp/hoikuen/>